

令和 3 年 度  
島 原 市 の 教 育



「夢の教室（オンライン実施）：夢先生 伊藤 華英さん」

島 原 市 教 育 委 員 会



## 市章の由来

市制施行を記念して懸賞募集により、昭和15年4月1日に制定されました。「島原市は山を負い、海に臨む風光明眉の地にして、4個のマを配して“シマ”を表し、円満な市政と市民の協和」を象徴したものです。

## 市民憲章

美しい自然と ゆたかな風土に  
はぐくまれた このしあわせを大切に  
さらに住みよい郷土をつくるため  
私たち島原市民は

— 自然を愛し きれいな街づくりに

つとめましょう。

— お互いに助け合い 明るい社会を

築きましょう。

— 教養ゆたかに 文化を高め

ましょう。

— きまりを守り よい風習を育て

ましょう。

— 健康で働き 楽しい家庭を

つくりましょう。

(昭和四十九年二月七日制定)

## 島原市民の歌

作詞 宮崎康平  
作曲 古関裕而

一、雲がながれて

おしろやね  
島原城の天守閣から

よるこびも

飛んでくる

ふるさと

飛んでくる

幸せばかり

島原の

島原の空を

かなしいときも

二、白い朱纒の

うれしいときも

花びらを

森の泉に

かなしみも

湧いてくる

ふるさと

島原の

まごころばかり

ふるさと

島原の水を

愛のしるしに

そよ風が

市民の胸に

みな

かなしみも

吹いてくる

ふるさとの

思い出ばかり

島原の風に

ふるさと

みんな元気で

歌いましょう

いつも微笑って

わら

# も く じ

## 1 教育委員会

教育委員会	1
教育方針	2
島原教育振興基本計画	3
教育諸条件の整備目標	4
学校教育の目標	6
社会教育の目標	9
スポーツ推進の目標	12
市勢のあらまし	16
令和3年度島原市一般会計歳出 当初予算における目的別経費の割合	17
教育行政と分掌事務	18
教育委員会の職員数	19

## 2 統計調査

年度別児童生徒数の状況	20
島原市内の各学校一覧表	21
・小学校	21
・中学校	21
・高等学校	21
・各種学校・専修学校	22
・特別支援学校	22
・幼稚園	22
・認定こども園	22
令和2年度高等学校進学状況	23
令和2年度就職先の状況	23
各年度別中学校卒業生・進学者・進学率 一覧表	24
各年度別中学校卒業生の進路状況	25

## 3 学校施設

各小・中学校の建物及び校地の 保有面積	26
------------------------	----

## 4 奨学金

貸与型奨学金	27
ふるさとにもどってこねね奨学金	28

## 5 学校教育

【1】 学校の教育目標及び研究主題	29
【2】 島原市適応指導教室	33
【3】 学校給食	35

## 6 学校体育

【1】 目標	37
【2】 中学校部活動実施状況	38

## 7 学校保健

【1】 目標	39
--------	----

## 8 社会教育

【1】 社会教育関係団体	40
(1) 婦人会	40
(2) 青年団	40
(3) 青少年健全育成協議会	40
(4) PTA	40
(5) 子ども会	41
(6) 高齢者団体	41
【2】 公民館活動	42
(1) 各地区公民館の概況	42
(2) 公民館活動の目標	42
(3) 公民館運営計画	42
【3】 公民館利用状況	45
【4】 生涯学習推進	45
(1) 各公民館が開設する各種学級・講座	45
(2) 社会教育課が主催共催する各種講座	46
(3) 青少年教育	46
(4) 子育て支援	47
(資料) 社会教育委員、各種学級・学習計画	48
【5】 文化財及び文化事業	51
(1) 文化財	51
(2) 文化事業	56
【6】 図書館	57
【7】 文化会館	59
【8】 島原市少年センター	60

## 9 スポーツ

【1】 目標	63
【2】 島原市体育施設利用状況	65
【3】 島原市スポーツ少年団	65

## 10 (一財) 島原市教育文化振興事業団

## 11 (一財) 島原市学校給食会

	68
--	----

# 1 教育委員会

## ◎ 島原市の教育長及び教育委員（令和3年7月13日現在）

職名	氏名	年齢	就任年月日	任期
教育長	森本 和孝	65	平成 29. 7. 13	令和 2. 7. 13 ～ 令和 5. 7. 12
職務代理者	友永 峰昭	71	平成 31. 4. 1	平成 31. 4. 1 ～ 令和 5. 3. 31
委員	本多 直行	68	平成 26. 7. 1	平成 30. 7. 1 ～ 令和 4. 6. 30
委員	立花 博	68	平成 25. 7. 12	令和 3. 4. 1 ～ 令和 7. 3. 31
委員	村里 亜紀	41	令和 3. 7. 13	令和 3. 7. 13 ～ 令和 7. 7. 12

## ◎ 島原市の歴代教育委員（教育委員会発足 昭和27年11月1日）

岩本 一男	生駒 大五郎	本田 昌弘	北田 久	佐藤 利宗
大場 二虎	樋口 正規	酒井 満盛	奥村 雄紀	清水 充枝
小西 弘恵	田浦 英雄	北條 成之	長池 要七	井上 莞爾
宮崎 張夫	内田 利通	山本 篤五郎	田浦 良朗	松島 利彦
片岡 二三子	平野 進	野村 義文	唐津 順子	宮原 照彦
吉田 実雄	宮崎 嵩三	岩村 俊夫	本多 敏光	松本 正弘
大町 一郎左衛門	吉田 良一	日向 義隆	山崎 幹子	森 みずき
上田 徳蔵	松本 巖	荒木 至	小峰 忠與士	本多 直行（現）
林田 俊雄	鐘ヶ江 管一	宮崎 郁子	伊藤 官治	立花 博（現）
古賀 茂成	田近 孝	園田 秀利	宮崎 金助	友永 峰昭（現）
桑土 三雄	平井 皎	犬塚 勝次郎	谷口 英夫	村里 亜紀（現）

## ◎ 島原市の歴代教育長

氏名	任期
上田 徳蔵	昭和 27. 10. 5 ～ 昭和 31. 9. 30
生駒 大五郎	昭和 31. 10. 1 ～ 昭和 43. 9. 30
松本 巖	昭和 43. 10. 1 ～ 昭和 47. 3. 31
平井 皎	昭和 47. 4. 3 ～ 昭和 59. 9. 30
園田 秀利	昭和 59. 10. 2 ～ 平成 4. 9. 30
職務代理者（高野 博）	平成 4. 10. 1 ～ 平成 5. 3. 31
北田 久	平成 5. 4. 1 ～ 平成 10. 6. 30
小峰 忠與士	平成 10. 7. 1 ～ 平成 14. 6. 30
谷口 英夫	平成 14. 7. 1 ～ 平成 17. 1. 31
職務代理者（坂本 正博）	平成 17. 2. 1 ～ 平成 17. 3. 31
宮崎 金助	平成 17. 4. 1 ～ 平成 21. 3. 31
清水 充枝	平成 21. 4. 1 ～ 平成 25. 7. 10
宮原 照彦	平成 25. 7. 12 ～ 平成 29. 7. 11
職務代理者（松本 正弘）	平成 29. 7. 12 ～ 平成 29. 7. 12
森本 和孝	平成 29. 7. 13 ～ 令和 5. 7. 12

## 島 原 市 教 育 方 針

島原市の教育は、先人が築いた郷土の伝統と文化を継承し、人間尊重の精神と自然に対する畏敬の念を重んじ、社会の変化に対応し世界の平和に貢献できる調和のとれた市民の育成をめざす。

そのためには、噴火災害復興の体験から学んだ「生命・きずな・感謝の心」の精神を引き継ぎ、郷土に誇りをもち、国を愛する心を育てるとともに、心豊かでたくましく生きる子どもたちの育成を図る。

学校、家庭、地域はそれぞれの役割を認識し、一体となって地域の教育力の向上に努め、生涯を通じて学び続けることのできる社会の実現を図る。

とくに、教育に携わるものは、その責任と使命を自覚し、自らの識見を高めるとともに、深い教育愛とすぐれた指導力を身に付け、本市教育の充実と発展に努めなければならない。

## 島 原 市 教 育 努 力 目 標

- 確かな学力を身に付け、豊かな心の育成を図る学校教育の推進
- たくましく生きるための健やかな体を育成する学校体育の推進
- 子どもから大人まで共に学び合う生涯学習の推進
- たくましい青少年の育成をめざす地域ぐるみの子育ての推進
- 伝統と文化を重んじ、郷土や国を愛する心を育てる教育の振興

## ◎ 島原市教育振興基本計画

### 1 第2期島原市教育振興基本計画（平成29年度～平成33年度）

平成23年度に策定した第1期の島原市教育振興基本計画の成果と課題や今日の教育を取り巻く社会の動向などを踏まえるとともに、国や県の第2期教育振興基本計画を参酌し、平成27年度に策定された島原市教育大綱及び第6次島原市市勢振興計画（平成27年度中間見直し後）との整合性を保ちながら、平成29年度から今後5年の取り組むべき施策を示した、第2期の島原市教育振興基本計画を平成29年2月に策定した。



### 2 島原市の教育施策（第2期島原市教育振興基本計画抜粋）

松平島原藩の初代藩主忠房は、ことのほか学問を奨励し「文武両道こそは藩の基盤である」と自ら講書を開きました。その好学の遺風は後世にも引き継がれ、寛政4年（1792年）に発生した未曾有の大災害である島原大変を体験した当時の人々は、早急な復興や将来の国づくりには人材育成こそが急務という思いから、翌年に藩校「稽古館」をいち早く開校し藩士の教育を行いました。島原地方はこうした教育の歴史を有しています。

教育は、郷土や国の将来を左右する最優先の政策課題の一つであります。そのためには、郷土の発展を担う誇りと責任を自覚し、国際社会でも活躍できる心豊かでたくましく生き抜く力を身に付けた人材を育成していくことが大事です。

平成3年の噴火災害から学んだ「生命・きずな・感謝の心」の精神を引き継ぎ、学校・家庭・地域それぞれの教育力を結集して、心豊かで活力ある生涯学習社会の構築と広い視野に立った施策の推進に努めます。

- (1) 生き抜く力を育む人づくり
- (2) 強い絆と豊かな心で結ばれた地域づくり
- (3) スポーツを通じた人づくり・地域づくり
- (4) 安全で安心な教育環境づくり

## ◎ 教育諸条件の整備目標（安全で安心な教育環境づくり）

教育施設設備の整備については、小・中学校施設の年次計画による改修や教材教具の充実等を継続的に実施するとともに、その他の教育関係施設についても改修整備等を行い、よりよい教育環境の充実に努める。

また、夢の実現に向けた修学支援の充実に努める

### ○ 快適で豊かな教育関係施設の充実

- ・ 学校施設、社会教育施設及びスポーツ施設の整備・充実に努めます。

### ○ 教育環境の充実

- ・ 教育環境設備の充実に努めます。
- ・ 情報教育環境設備の充実に努めます。

### ○ 夢の実現に向けた修学支援の充実

- ・ 奨学金制度の適正な運営、推進に努めます。
- ・ 準要保護児童生徒援助事業の適正な実施に努めます。

## 教育総務課 事業計画

月	日	事業	備考
4	1	辞令交付（事務局）	
	9	学校配当予算に係る説明会	
	中旬	第1回長崎県都市教育長協議会（年4回開催）	長崎市
	16	市町村教育委員会連絡協議会合同理事会 県・市町教育委員会合同会議 県・市町教育委員会スクラムミーティング	長崎市
		定例教育委員会（毎月1回）	
		総合教育会議（年に数回）	
		第3期島原市教育振興基本計画作成（令和3年度中）	
		準要保護児童生徒認定（毎月）	
		公立文教施設台帳審査	長崎市
	5	18	市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会
下旬		全国都市教育長協議会定例総会・研究大会	山口県山口市

月	日	事 業	備 考
5	下旬	学校基本調査	
		県下公立文教施設担当者会議	
6	上旬	ふるさとにもどってこんね奨学生応募受付（6月中）	
		島原市奨学生応募受付（6月中）	
		「島原市の教育」（教育要覧）作成	
7	中旬	第2回長崎県都市教育長協議会	佐世保市
	下旬	ふるさとにもどってこんね奨学生審議委員会	
		島原市奨学生審議委員会	
		地方教育費調査	
8	上旬	教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書の提出	
	5 6	九州地区市町村教育委員会研修大会	福岡市
10	中旬	九州都市教育長協議会定例総会・研究大会	鹿児島県鹿児島市
	下旬	学校配当予算編成	
		新年度予算要求作成	
11	4	県市町村教育委員会連絡協議会「新任教育委員研修会」	五島市
	5	県市町村教育委員会連絡協議会「市町村教育委員会研究大会」	五島市
	中旬	次年度準要保護児童生徒入学準備金（新入学用品費）申請手続き	
		島原市教育委員会表彰式	
	下旬	第3回長崎県都市教育長協議会	壱岐市
		県下都市庶務担当課長会議	大村市
1	下旬	新年度教育予算にかかる市長への要望	
		次年度準要保護児童生徒申請手続き	
2	上旬	第4回長崎県都市教育長協議会	西海市
	下旬	次年度島原市教育委員会事業計画の策定	
3	上旬	ふるさとにもどってこんね奨学生募集おしらせ（6月まで）	
		島原市奨学生募集おしらせ（6月まで）	



## ◎ 学校教育の目標（生き抜く力を育む人づくり）

学校教育においては、「生命・きずな・感謝の心」の育成を基盤に据え、生涯学習の基礎を培うという認識に立ち、自ら学ぶ意欲をもち、社会の急激な変化に主体的に対応できる、知・徳・体の調和のとれた、心豊かでたくましく生きる児童生徒の育成をめざす。

- 確かな学力の育成
  - ・一人ひとりに応じた教育を推進します。
  - ・学力調査の分析結果、学習規律の確立、「主体的・対話的で深い学び」の視点等を生かした授業改善に努めます。
  - ・家庭学習や基本的な生活習慣を見直し、「子どもの学びの習慣化」の確立に努めます。
  - ・外国語教育の充実に努めます。
  
- 豊かな心の育成
  - ・道徳教育の要である「特別の教科道徳」の授業の充実に努めます。
  - ・生命の教育に努めます。
  - ・読書活動や文化・芸術教育の充実に努めます。
  - ・生徒指導の充実に努めます。
  
- 健やかな体の育成
  - ・学校体育の充実に努めます。
  - ・健康教育の充実に努めます。
  - ・食に関する指導の充実に努めます。
  
- 教職員の資質向上
  - ・教師の授業力の向上に努めます。
  - ・教職員研修の充実に努めます。
  - ・校種間連携の充実に努めます。
  
- 地域との連携
  - ・地域の教育力を生かした学習を推進します。
  - ・信頼される学校づくりを推進します。

### 学校教育課 事業計画

月	日	事 業	備 考
毎月		定例校長会	
		定例教頭会	
		教務主任研修会	
		養護教諭部会	
		学校給食献立案作成会	
		就学相談（随時）	
4	1	教職員辞令交付式	13:30～ 有明総合文化会館
	5	島原市会計年度任用職員任用通知書交付式（学教関係）	9:30～ 有明総合文化会館
	7	中学校入学式 14:00（14:20 有明中）	
	8	小学校入学式 10:00（9:30 高野小・湯江小）	
	19	第1回島原・雲仙・南島原地区初任研・中堅研実施運営委員会	14:00～ 島原市有明庁舎
		指導主事研修会	長崎市
5	16	中学校体育大会（5校）	
	23	小学校運動会（9校）	
	27	国・県・市学力調査（県学 中3英のみ 5/28（金））	
	下旬	日本スポーツ振興センター災害共済給付加入手続 学校経営訪問	
6	12	市中体連球技武道大会（13日まで）	
	23	市中体連陸上大会	8:20～市営陸上競技場
7		島原市学力調査結果分析及び問題データベース活用研修会	
		学校プール監視員講習会	
		教職員胃検診	

月	日	事 業	備 考
8	5	豊後高田市・島原市兄弟校交流校児童会交流事業（8月7日まで）	
		ユネスコジオパーク 島原市小学校イングリッシュキャンプ	
		ユネスコジオパーク 島原市中学校イングリッシュキャンプ	
		学校閉庁（16日まで）	
	20	教育講演会（長谷川哲朗氏）	14:30～ 有明総合文化会館
		島原市就学相談	有明公民館
		教職員胃検診	
9	11	第71回小・中学校科学作品展（12日まで）	10:00～島原文化会館
	30	市中体連駅伝大会	8:30～島原復興アリーナ 周回
10	上旬	学校巡回訪問（11月まで）	
	22	第42回北村西望賞教育美術展審査会	9:30～島原文化会館
	30	第42回北村西望賞教育美術展（11月3日まで）表彰式	10:00～島原文化会館
		就学時健康診断（11月まで）	
11	11	長崎県中学校総合体育大会駅伝競走大会	9:30～ トランスコスモスタジアム長崎
		生徒指導に関する研修会	
		心の相談員等連絡協議会	14:00～ 適応指導教室
1	下旬	ふれあい給食	12:10～高野小学校
2	14	第2回島原・雲仙・南島原地区初任者研修実施運営委員会 中堅教諭等資質向上研修実施運営委員会	14:00～ 雲仙市千々石庁舎
		島原市学力調査結果分析及び学力向上研修会（中学校）	
		島原市学校事務共同実施連絡協議会	
3		中学校卒業証書授与式	
		小学校卒業証書授与式	
	31	小・中学校教職員退職者辞令交付式	11:30～ 有明庁舎大会議室

## ◎ 社会教育の目標（豊かな心と郷土愛を育む、強い絆で結ばれた地域づくり）

社会の急速な変化に伴い、少子・高齢化、高度情報化、国際化等、現代的な課題が山積している。教育の分野においても、多様化する人々の学習要求や地域ぐるみの子育てへの対応が求められており、市民一人一人が希望と夢を持てる21世紀の「まちづくり・人づくり」を目指して、本市の歴史と文化を生かし、「大人と子どもが学び合う、心豊かな生涯学習社会」を創造する。

### ○ 「島原市ココロねっこ運動」の推進

- ・学校・家庭・地域が連携・協力して地域全体で子どもを育みます。
- ・子どもの生き抜く力の基礎となる家庭教育の充実を図り、子育てを支援します。
- ・子どもが安全で安心して活動ができる居場所づくりに努めます。

### ○ 公民館活動の推進や社会教育関係団体の活動支援と地域の絆づくりの推進

- ・公民館を拠点として、いつでもどこでも誰でも学べる環境づくりを推進します。
- ・社会教育関係団体の育成を図り、地域に根差した活動を支援します。

### ○ 文化活動の推進と文化の向上

- ・文化団体の自主運営を支援します。
- ・優れた舞台芸術に接する機会を提供するため、自主文化事業の実施に努めます。

### ○ 図書館活動の推進

- ・図書資料の充実、司書業務の充実、利便性の向上を図ります。
- ・子どもの読書活動を推進します。

### ○ 歴史的遺産の保護をとおした郷土を愛する心の育成

- ・旧島原藩薬園跡、肥前島原松平文庫、島原城跡をはじめとする文化財の保護に努めます。
- ・民俗芸能団体が行う伝統文化の継承活動を支援します。

## 社会教育課 事業計画

月	日	事業	備考
4	1	朝のあいさつ運動（毎月1日）	
	中旬	「家庭の日」広報（毎月第3日曜日前の金曜日）	
	中旬	社会教育担当者会（毎月月初）	
	下旬	放課後子ども学習室（年間）	

月	日	事業	備考
5	中旬	肥前島原子ども狂言開講（～10月）	島原文化会館
	中旬	第1回少年センター自転車指導	
	下旬	各種学級講座開講	
	下旬	各地区通学合宿（～9月）	
6	中旬	第1回少年センター補導委員会	
	22	社会教育講演会	
7	10	市民文化講座	
	12	第1回少年センター立入調査	
	13	第1回公民館運営審議会	
	14	第1回文化財保護審議会	
	16	第1回社会教育委員の会	
	19	第1回少年センター運営協議会	
	下旬	スクールキッズ	
8	下旬	第1回島原市文化財保存活用地域計画作成委員会	
	下旬	スクールキッズ	
9	17	第1回島原図書館協議会	
	中旬	第2回社会教育委員の会	
10	6	第60回島原市美術展（～11日）	
	上旬	図書ボランティア懇談会	
	上旬	学校司書研修会	
	中旬	第3回社会教育委員の会	
	30	市民文化講座	
11	中旬	第2回少年センター立入調査	
	14	第42回島原市民音楽祭 洋楽の部	島原文化会館

月	日	事業	備考
	2 1	第42回島原市民音楽祭 邦楽の部	島原文化会館
	下旬	第4回社会教育委員の会	
	下旬	各地区公民館まつり（～2月）	
1 2	上旬	第2回少年センター自転車指導	
	中旬	第2回島原市文化財保存活用地域計画作成委員会	
1	3	島原市成人式	島原文化会館
	中旬	第2回島原図書館協議会	
	下旬	第2回文化財保護審議会	
2	中旬	第5回社会教育委員の会	
	中旬	第72回島原梅林俳句会	
	中旬	第3回島原市文化財保存活用地域計画作成委員会	
	下旬	第2回少年センター補導委員会	
3	上旬	第2回公民館運営審議会	
	中旬	第2回少年センター運営協議会	
	下旬	各種学級講座閉講	

## ◎ スポーツ推進の目標（スポーツを通じた人づくり・地域づくり）

市民一人ひとりが、生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を営むため、生涯をとおして、いつでも、どこでも気軽にスポーツに親しめるような環境を整えスポーツの振興を図る。

また、生涯にわたる体育・スポーツ活動の基礎づくりとして、スポーツ少年団活動の一層の充実を図る。

さらに、関係機関並びに競技団体と連携しながら、スポーツ人口の拡大と競技力の向上及び指導者の育成を図る。

- ライフステージに応じた生涯スポーツの充実
  - ・子どもから高齢者までスポーツの絆を広げるため、総合型スポーツクラブの充実に努めます。
  - ・スポーツ活動の提供・充実に努めます。
- 夢を育むジュニアスポーツの活性化
  - ・ジュニアスポーツの活性化に努めます。
- スポーツを活用した地域活性化
  - ・国内外のキャンプ・合宿・スポーツ大会等を誘致し、交流人口を拡大することで地域の活性化に努めます。

### スポーツ課 事業計画

月	日	事業	備考
4	6	島原市スポーツ推進委員委嘱状交付式	教育長室
	8	ドイツ横連携会議	有明庁舎（WEB会議）
	16	長崎県スポーツ協会第1回生涯スポーツ委員会	長崎県営野球場
		長崎県民体育大会第1回実行委員会	長崎県営野球場
	22	東京2020聖火リレー長崎県実行委員会	本庁（WEB会議）
	28	島原市スポーツ推進委員協議会総会	有明公民館
	30	東京2020聖火リレー長崎県実行委員会	本庁（WEB会議）
5	6	東京2020オリンピック聖火リレー	島原城周辺
	12	長崎県スポーツ少年団指導者協議会・事務担当者会	有明庁舎（WEB会議）
	20	東京2020大会事前キャンプ受入れ担当課長会議	本庁（WEB会議）

月	日	事業	備考
	28	島原市スポーツ協会第1回理事会・評議委員会	有明公民館
6	10	島原市スポーツ少年団指導者協議会役員会	有明庁舎
	13	V・ファーレン長崎島原市サンクスマッチ	トランス・コスモススタジアム
	14	V・ファーレン長崎・長崎ヴェルカ自治体連携会議	出島交流会館
	17	長崎県スポーツ協会第1回評議委員会	未定
7	6	長崎県スポーツコミッション総会	ホテルニュー長崎
	9	市民体育祭実行委員会	有明総合文化会館
	18	第55回島原市民親睦ソフトボール大会	三会ふれあい運動広場
		第12回島原市民親睦ソフトバレーボール大会	霊丘体育館・弓道場
中旬	島原市スポーツ協会第2回理事会	未定	
8	6	平成新山 島原学生駅伝実行委員会	有明庁舎
	14	ドイツパラ陸上パラリンピック事前キャンプ(～28日)	
	21	第34回市長杯少年少女サッカーフェスティバル(～22日)	中止 平成町多目的広場
9	上旬	V・ファーレン長崎自治体支援会議	県庁
	上旬	平成新山 島原学生駅伝実施委員会	
	中旬	長崎県民体育大会第2回実行委員会	県営野球場
	中旬	長崎県スポーツ協会第2回生涯スポーツ委員会	県営野球場
	下旬	国民体育大会島原市選手団壮行式	
10	3	市民体育祭各種競技会	市内各会場
	10	市民体育祭大運動会	市営陸上競技場
	14	長崎県体育主管課長会議(～15日)	
	12	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」(～14日)	各小学校
	20	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」(～21日)	各小学校
	上旬	長崎県民体育大会代表者会議	
11	10	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」(～12日)	各小学校
	13	第72回長崎県民体育大会(～14日)	県内各会場



月	日	事業	備考
	上旬	島原市体力テスト	島原復興アリーナ
	中旬	島原市スポーツ協会表彰式	有明総合文化会館
	下旬	福知山マラソン	福知山市
1 2	3	平成新山 島原学生駅伝開会式	島原文化会館
	4	平成新山 島原学生駅伝	市営陸上競技場
	4	島原市スポーツ少年団対抗駅伝大会	中止
	上旬	第4 1回島原市民親睦テニス大会	市総合運動公園庭球場
		第2 2回島原市少年ソフトボール大会（市教委杯）	有明の森運動場
	中旬	第1 5回島原半島地区対抗駅伝競走大会	雲仙市・南島原市
		長崎縣市町村社会体育担当者会	
下旬	島原市スポーツ少年団新人大会（バレーボール）		
2	6	第5 8回長崎県スポーツ推進委員研究大会（～7日）	平戸市
	1 7	第2回長崎県スポーツ少年団指導者協議会並びに事務担当者会	
	2 0	第4 5回島原市民親睦バドミントン大会	
	上旬	長崎県スポーツ協会生涯スポーツ委員会	
		島原市スポーツ少年団送別大会（バレーボール）	
	中旬	第7 1回郡市対抗県下一周駅伝大会	市役所前再スタート
		長崎県スポーツ表彰・長崎県教育委員長顕彰表彰式	
	中旬	島原市スポーツ推進委員役員会・評議員会	
	中旬	長崎県民体育大会第3回実行委員会	
	中旬	長崎県スポーツ協会第3回生涯スポーツ委員会	
	下旬	第5 2回島原市民親睦卓球大会	
		島原市スポーツ少年団交流大会（ソフトボール）	
未定	宝くじスポーツフェアー ドリームサッカー（9月から延期）	市営陸上競技場	
3	上旬	第4 1回有馬スポーツ賞表彰式	有馬武道館
		島原市スポーツ少年団送別・新人大会（サッカー）	
	中旬	島原市スポーツ協会第4回理事会	未定
	下旬	V・ファーレン長崎自治体支援会議	

月	日	事 業	備 考
		長崎県スポーツ協会臨時評議員会	
		島原市スポーツ推進委員協議会及び功労者表彰受賞祝賀会	

## ◎ 市 勢 の あ ら ま し

島原市には、縄文・弥生・古墳時代や古代の遺跡が存在し、遙かな原始・古代から歴史を有する。

戦国時代には有馬氏の下、キリスト教の信仰が盛んになり、江戸時代に有馬氏転封の後、大和国五条から松倉重政が入封し、元和4年（西暦1618年）から7年の歳月を費やして島原城（別名森岳城）を築城、以後、島原半島の政治、経済、文化の中心的役割を果たしてきた。寛永14年（西暦1637年）には松倉勝家の苛政とキリシタン弾圧に対する「島原・天草一揆」が起こり、一揆軍だけで3万8千人余の犠牲者を出す動乱となった。この後、高力氏が領内復興を図り、その後、松平氏が戸田氏と一時期交替するも明治まで島原を統治した。この間の寛政4年（西暦1792年）には雲仙普賢岳の火山活動に伴う眉山の大崩壊が発生し、山崩れと津波により島原領内及び対岸の熊本・天草も合わせて約1万5千人の住民が犠牲になるという災害に見舞われた（「島原大變肥後迷惑」）。

これら大きな動乱と地変を経て、明治4年（西暦1871年）の廃藩置県により、旧城下町は島原村、島原町、島原湊となり、大正13年（西暦1924年）にはこの三者が合併して島原町となる。次いで、昭和15年4月には安中・杉谷の両村を合併し、県下で3番目、全国では159番目の市制をしき、昭和30年4月には隣村の三会村を編入した。

平成2年11月に雲仙普賢岳が198年ぶりに噴火、平成3年5月以降、土石流・火砕流による災害が発生し、第四小学校、第五小学校及び第三中学校は仮設校舎での授業を余儀なくされた。平成8年6月には噴火活動の終息宣言を行い、また、噴火災害に伴う防災事業により、平成10年12月に杉谷公民館、平成12年7月には第四小学校が移転・竣工した。

現在、第一小学校旧校舎、第三小学校旧校舎の改築をはじめ、小・中学校校舎の躯体部分の耐震化を平成24年度で終了し、非構造部材耐震化事業についても、市内全ての学校の体育館を平成27年度で終了しており、今後は年次計画で進めていく予定である。

平成18年1月には隣接する有明町を編入し、新しい島原市が誕生。平成の大合併により、島原半島は雲仙市と南島原市を合わせた3つの市として新たにスタートした。また、3市において火山活動によって生じた特徴的な自然景観及び地質（ジオ）を、一体的な自然公園（パーク）とする「島原半島ジオパーク」の推進を図り、平成21年8月には糸魚川・洞爺湖有珠山と共に、日本で最初となる世界ジオパークの認定を受けた。また、平成24年5月には、ジオパーク国際ユネスコ会議を本市で開催するなど、島原半島の自然や景観、歴史、文化など、他の地域にない素晴らしい魅力を発信すると共に、教育活動においてもジオパークに関する学習に取り組んでいる。このような島原市民の人々の熱意や教育プログラムなどのジオパーク活動が評価され、平成30年1月31日に2回目の再認定となり、今後さらに地域振興への寄与が期待される。

◎ 市の面積

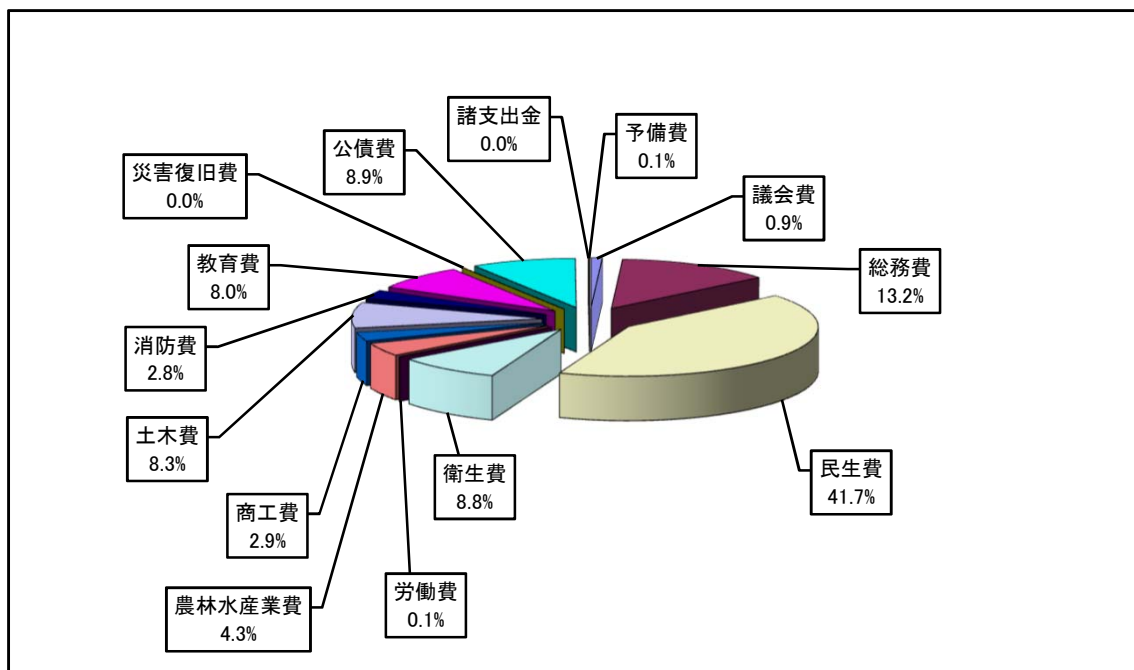
82.96Km<sup>2</sup>

◎ 世帯数, 人口 (令和3年4月30日現在)

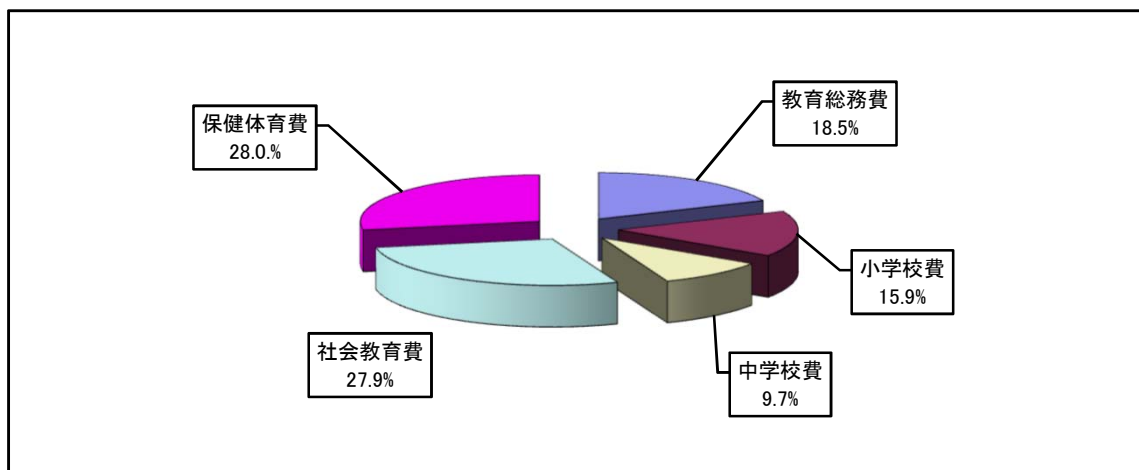
世帯数	人 口			人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
	男	女	計	
19,848	20,527	23,458	43,985	530.2

【令和3年度 島原市一般会計歳出当初予算における目的別経費の割合】

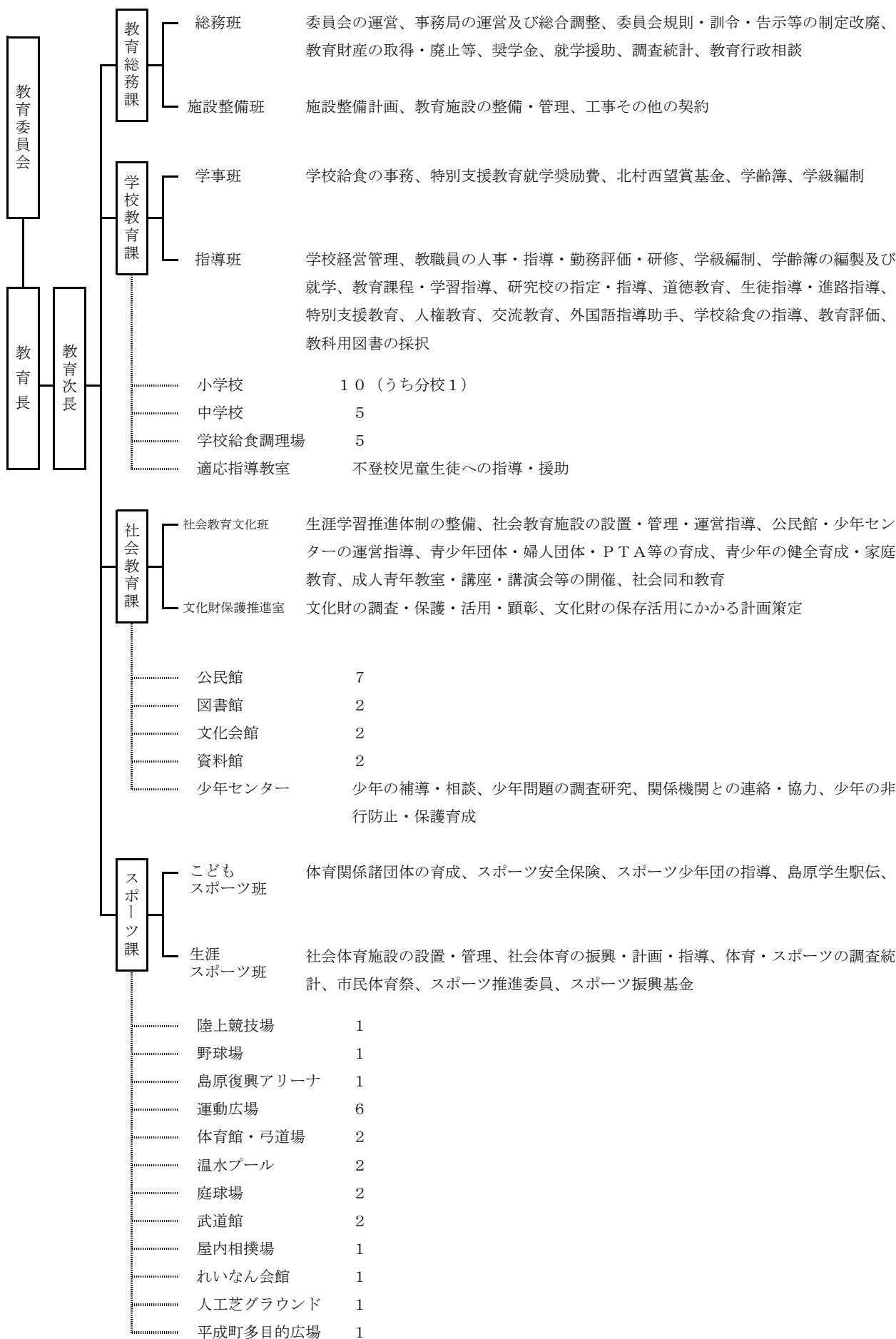
・一般会計歳出予算総額：230億6,800万円 うち、教育費予算：18億3,582万4千円



・教育費予算の目的別内訳



【教育行政と分掌事務】 (令和3年4月1日現在)



【教育委員会の職員数(教育長・教育次長を除く)】

令和3年4月1日現在

※ ( ) は会計年度任用職員等

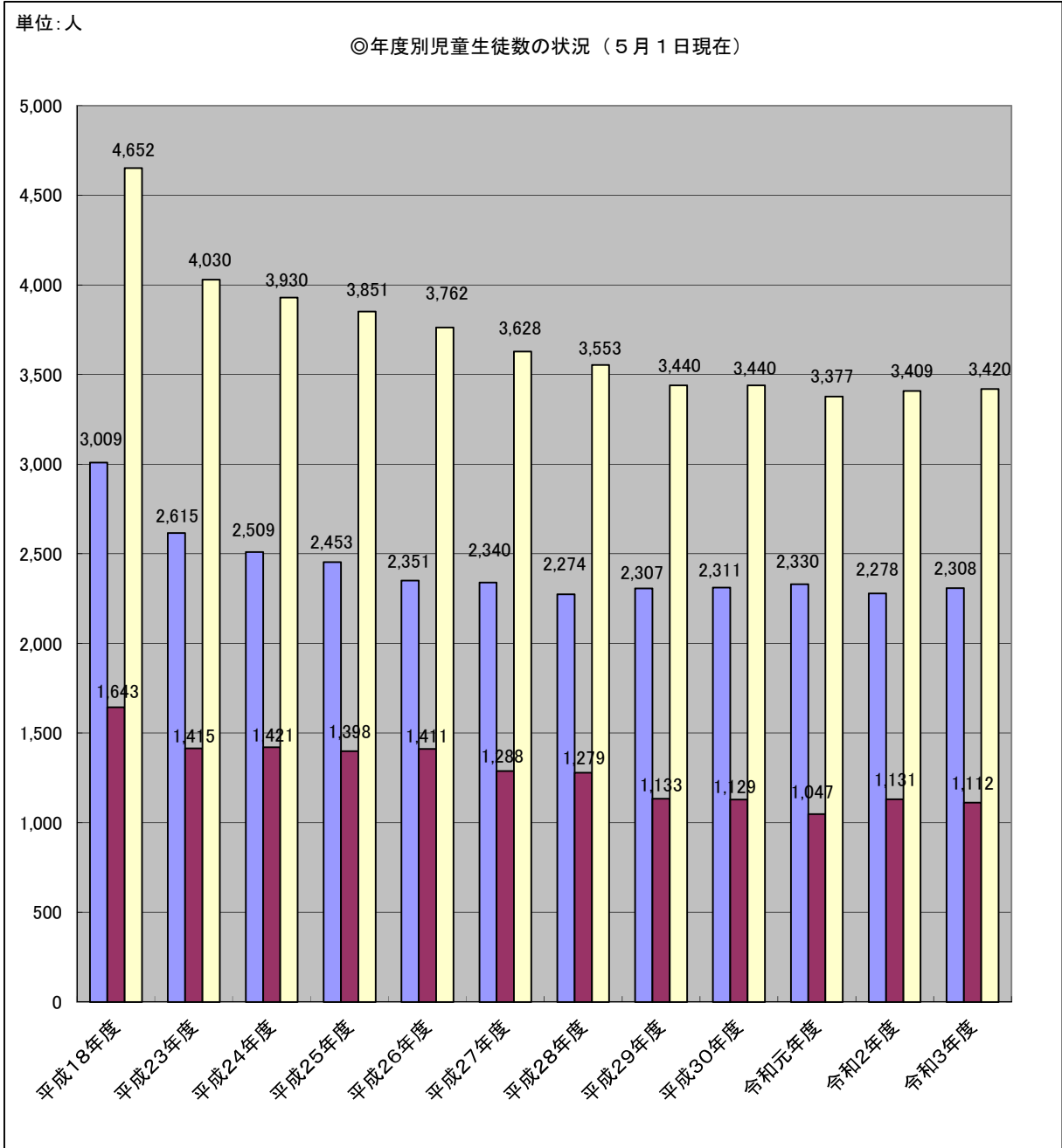
所 属 職種別	教育総務課	学校教育課	社会教育課	スポーツ課	小 学 校	中 学 校	公 民 館	計
課 長	1	1	1	1				4
参 事		3	1					4
課長補佐	1	2	1	2				6
係 長	1						4	5
主 任	3	1	2				3	9
主 査	2		3	1				6
主 事			1	2				3
条件付職員								0
校務主事					(10)	1(4)		1(14)
社会教育指導員			(2)					(2)
少年センター 指導監・相談員			(1)					(1)
松平文庫 文庫長・技術員			(3)					(3)
事務(技術)員	(3)		(2)				(7)	(12)
地域おこし 協力隊			(1)					(1)
合 計	8(3)	7	9(9)	6	(10)	1(4)	7(7)	38(33)
内、指導主事、 社会教育主事		6	1	1				8

## 2 統計調査

### ◎年度別児童生徒数の状況（5月1日現在）

※平成18年1月に有明町と合併

	平成18年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学校	3,009	2,615	2,509	2,453	2,351	2,340	2,274	2,307	2,311	2,330	2,278	2,308
中学校	1,643	1,415	1,421	1,398	1,411	1,288	1,279	1,133	1,129	1,047	1,131	1,112
合計	4,652	4,030	3,930	3,851	3,762	3,628	3,553	3,440	3,440	3,377	3,409	3,420



◎島原市内の各学校一覽表（令和3年5月1日現在）

市立小・中学校

○小学校（10）	校長名	教頭名	住 所 地	電 話	学級数	児童数	男 子	女 子	職員数
島原市立第一小学校	堀口 達也	早稲田 植也	島原市城内一丁目1129番地	63-0041	20	483	241	242	33
島原市立第二小学校	橋本 徳彦	雪野 正三	島原市萩が丘二丁目5688番地	63-0325	14	264	136	128	27
島原市立第三小学校	原 洋	新田 晃弘	島原市広馬場町7758番地	63-0026	15	258	131	127	24
島原市立第四小学校	大槻 浩二	園田 栄作	島原市宇土町乙670番地1	62-2410	10	211	114	97	18
島原市立第五小学校	野中 邦明	松田 訓和	島原市大下町丙1049番地	62-7253	16	330	166	164	24
島原市立三会小学校	古瀬 唯二	村田 善信	島原市中原町乙1462番地	62-3604	11	229	115	114	19
島原市立三会小学校長貴分校	"	"	島原市長貴町丙1902番地	62-3991	2	12	8	4	2
島原市立大三東小学校	村田 茂則	宮本 勝也	島原市有明町大三東丙582番地1	68-0030	13	237	125	112	21
島原市立高野小学校	松田 久幸	山本 幸二	島原市有明町大三東丁2133番地1	68-0034	8	71	34	37	13
島原市立湯江小学校	柳堂 圭章	長谷川 美加	島原市有明町湯江丙839番地	68-0504	10	213	105	108	19
合 計					119	2,308	1,175	1,133	200

○中学校（5）	校長名	教頭名	住 所 地	電 話	学級数	生徒数	男 子	女 子	職員数
島原市立第一中学校	矢島 和幸	内島 修太郎	島原市城内一丁目1222番地	63-0376	13	361	181	180	24
島原市立第二中学校	大場 昶	中村 健太郎	島原市新山三丁目8916番地	63-0812	8	191	104	87	18
島原市立第三中学校	渡邊 吉高	松尾 博愛	島原市梅園町丁2898番地	62-4813	9	170	75	95	20
島原市立三会中学校	本田 恭子	中野 元	島原市下宮町甲2511番地2	62-3709	8	138	72	66	19
島原市立有明中学校	本田 昌孝	平 由紀夫	島原市有明町大三東戊1535番地2	68-2115	11	252	131	121	23
合 計					49	1,112	563	549	104

（参考）市内の高等学校、専修学校、幼稚園等

○高等学校（6）

学 校 名	校長名	教頭名	住 所 地	電 話	学級数	生徒数	男 子	女 子	職員数
長崎県立島原高等学校	岩橋 順弘	喜多 龍昭 川口 由美子	島原市城内二丁目1130番地	62-4155	18	585	310	275	55
長崎県立島原高等学校定時制	岩橋 順弘	矢嶋 真行	島原市城内二丁目1130番地	62-4155	4	13	8	5	11
長崎県立島原農業高等学校	前田 達彦	山口 英明	島原市下折橋町4520番地	62-5125	10	280	117	163	53
長崎県立島原工業高等学校	山口 勇	船越 英規	島原市本光寺町4353番地	62-2768	9	318	294	24	45
長崎県立島原商業高等学校	前田由美子	岩橋 宗弘	島原市城内一丁目1213番地	62-4059	9	305	83	222	34
島原中央高等学校	森崎 和樹 (副)八木 繁	竹村 伸二 中村 順	島原市船泊町丁3415番地	62-2435	9	142	116	26	18
合 計					59	1,643	928	715	216



○各種学校・専修学校(2)

学校名	校長名	住 所 地	電 話	昼 夜 別	生 徒 数	男 子	女 子	職 員 数
島原市医師会看護学校	宮崎 伸一郎	島原市萩原一丁目1230番地	65-0730	昼	133	25	108	83
合 計					133	25	108	83

○特別支援学校(1)

※南串山分教室を含む

学 校 名	校 長 名	教 頭 名	住 所 地	学 科 別 課 程 別	電 話	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数	男 子	女 子	職 員 数
長崎県立島原特別支援学校	近藤 亮二	岡田 健治 長下 芳寿	島原市新田町562番地	小学部 中学部 高等部	64-4463	11 6 9	37 23 52	24 16 32	13 7 20	64
合 計						26	112	72	40	64

○幼稚園(2)

幼 稚 園 名	園 長 名	住 所 地	電 話	定 員	学 級 数	幼 児 数	男 子	女 子	職 員 数
島原活水幼稚園	芦田 雅理	島原市青葉町5436番地	63-2700	120	0	0	0	0	1
安中幼稚園	松井 勝俊	島原市大下町丙1159番地	62-3460	140	0	0	0	0	1
合 計				260	0	0	0	0	2

○認定こども園(5)

幼 稚 園 名	園 長 名	住 所 地	電 話	定 員	学 級 数	幼 児 数	男 子	女 子	職 員 数
島原幼稚園	渡部 英二	島原市弁天町一丁目107番地	62-2955	202	6	94	53	41	27
ありあけ幼稚園	小嶺 典子	島原市坂上町7528番地	62-2584	89	4	66	38	28	16
ひかわ第一幼稚園	入江 靖宏	島原市上新二丁目2576番地	62-4420	145	6	106	68	38	18
清華こども園	蒲池 房子	島原市有明町大三東甲2150番地	68-1163	90	3	45	28	17	18
勝光幼稚園	菊池 敬	島原市有明町大三東戊1480番地1	68-0466	55	3	31	12	19	7
合 計				581	22	342	199	143	86

◎令和2年度高等学校進学状況（就職・進学者を含む）

令和3年3月 中学校卒業者	公立全日制			私立全日制			定時制・通信制・高専・特別支援								
	志願者数		進学者数	志願者数		進学者数	志願者数		進学者数	志願者数		進学者数			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
県内	151	126	277	29	45	74	28	45	73	7	3	10	6	3	9
県外	1		1	7	3	10	8	3	11	1	1	2	1	1	2
合計	152	126	278	36	48	84	36	48	84	8	4	12	7	4	11

◎令和2年度就職先の状況（就職・進学者を含む）

男女別	第一次産業		第二次産業		第三次産業		左記以外		計		
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	
男	1								1		1
女											
計	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

◎ 各年度別中学校卒業生・進学者・進学率一覧表（5月1日現在）

年度	区分	卒業生		進学者		進学者総数 (A)		進学者総数 (B)		志願者に対する合格率	島原市の進学率 B/A
		男子	女子	男子	女子	合計	男子	女子	合計		
平成11年度		291	252	281	244	543	244	525	99.6%	96.7%	
平成12年度		237	240	230	236	477	230	466	98.3%	97.7%	
平成13年度		252	248	243	245	500	243	488	100.0%	97.6%	
平成14年度		232	235	221	228	467	221	449	99.6%	96.1%	
平成15年度		239	212	238	212	451	238	450	100.0%	99.8%	
平成16年度		238	208	235	208	446	235	443	100.0%	99.3%	
平成17年度		312	281	306	280	593	306	586	100.0%	98.8%	
平成18年度		310	256	306	256	566	306	562	100.0%	99.3%	
平成19年度		262	274	260	272	536	260	532	100.0%	99.3%	
平成20年度		280	261	278	260	541	278	538	99.8%	99.4%	
平成21年度		275	320	271	320	595	271	591	99.8%	99.3%	
平成22年度		244	250	244	250	494	244	494	100.0%	100.0%	
平成23年度		275	230	268	230	505	268	498	99.6%	98.6%	
平成24年度		236	227	232	225	463	232	457	100.0%	98.7%	
平成25年度		227	229	227	227	456	227	454	100.0%	99.6%	
平成26年度		250	252	242	249	502	242	491	99.0%	97.8%	
平成27年度		213	227	208	226	440	208	434	100.0%	98.6%	
平成28年度		254	222	251	221	476	251	472	100.0%	99.2%	
平成29年度		208	170	205	170	378	205	375	100.0%	99.2%	
平成30年度		223	207	220	203	430	220	423	100.0%	98.4%	
令和元年度		168	159	167	159	327	167	326	99.7%	99.7%	
令和2年度		197	178	194	177	375	194	371	100.0%	98.9%	

◎各年度別中学校卒業者の進路状況（5月1日現在）

区分 年度	性別	卒業者計	進学者総計 ①+②+③	高等学校 入学者①	高等専門学校 入学者②	専修・専門学校、 公共職訓入学者③	就職者	就職・進学者 (再掲)	無業者	死亡不詳
平成23年度	男子	275	268	266	2	0	4	0	3	0
	女子	230	230	230	0	0	0	0	0	0
	合計	505	498	496	2	0	4	0	3	0
平成24年度	男子	235	232	232	0	0	3	0	0	0
	女子	228	225	225	0	0	0	0	3	0
	合計	463	457	457	0	0	3	0	3	0
平成25年度	男子	227	227	225	2	0	0	0	0	0
	女子	229	227	226	0	1	1	0	1	0
	合計	456	454	451	2	1	1	0	1	0
平成26年度	男子	248	242	239	3	0	3	0	3	0
	女子	254	249	248	1	0	2	0	3	0
	合計	502	491	487	4	0	5	0	6	0
平成27年度	男子	213	210	209	0	1	3	1	0	0
	女子	227	227	225	1	1	0	0	0	0
	合計	440	437	434	1	2	3	1	0	0
平成28年度	男子	255	252	250	1	1	1	0	1	1
	女子	221	220	218	2	0	0	0	1	0
	合計	476	472	468	3	1	1	0	2	1
平成29年度	男子	208	206	205	0	1	1	0	1	0
	女子	170	170	170	0	0	0	0	0	0
	合計	378	376	375	0	1	1	0	1	0
平成30年度	男子	223	221	220	0	1	1	0	1	0
	女子	207	205	205	0	0	2	0	0	0
	合計	430	426	425	0	1	3	0	1	0
令和元年度	男子	168	167	166	0	1	0	0	1	0
	女子	159	159	159	0	0	0	0	0	0
	合計	327	326	325	0	1	0	0	1	0
令和2年度	男子	197	195	193	1	1	1	0	1	0
	女子	178	178	178	0	0	0	0	0	0
	合計	375	373	371	1	1	1	0	1	0

### 3 学校施設

◎各小・中学校の建物及び校地の保有面積(5月1日現在)

面積等 学校別	児童 生徒数 計	学級数 計	校舎面積 計 (㎡) ①+②+③	構造別面積			屋内 運動場 (㎡)	校地面積 計 (㎡) ④+⑤+⑥	保有			プール施設
				R (鉄筋コン クリート) ①	S (鉄骨) ②	W (木造) ③			建物敷地 ④	運動場 ⑤	その他 ⑥	
第一小学校	483	20	6,599	6,403		196	860	19,064	8,899	8,975	1,190	25m6コース
第二小学校	264	14	5,675	5,543	79	53	860	24,651	14,495	10,156		25m6コース
第三小学校	258	15	5,961	5,442	461	58	956	18,258	9,912	8,163	183	25m7コース
第四小学校	211	10	4,639	4,639			973	17,193	9,772	7,421		25m6コース
第五小学校	330	16	4,680	4,237	418	25	805	16,834	9,443	7,391		25m6コース
三会小学校	229	11	3,871	3,690	150	31	700	15,038	4,972	10,021	45	25m6コース
長貫分校	12	2	416		296	120		3,299	1,462	1,347	490	
大三東小学校	237	13	3,664	3,602		62	660	16,354	6,707	7,659	1,988	25m6コース
高野小学校	71	8	1,934	1,742	170	22	465	11,249	5,668	5,581		25m6コース
湯江小学校	213	10	3,625	3,545	80		694	15,363	8,125	7,238		25m6コース
合計(10校)	2,308	119	41,064	38,843	1,654	567	6,973	157,303	79,455	73,952	3,896	
第一中学校	361	13	5,438	5,322	32	84	980	18,932	8,733	10,199		
第二中学校	191	8	6,183	6,151		32	1,200	47,511	21,039	24,408	2,064	
第三中学校	170	9	4,375	3,738	550	87	886	19,250	4,914	14,336		
三会中学校	138	8	3,469	3,157	206	106	860	20,499	8,995	11,504		
有明中学校	252	11	5,459	4,992	412	55	1,337	24,770	10,666	14,104		
合計(5校)	1,112	49	24,924	23,360	1,200	364	5,263	130,962	54,347	74,551	2,064	

## 4 奨学金

### 【貸与型奨学金】

- 目的 経済的理由により修学が困難な者に奨学金を貸し付け、有為な人材の育成に資する。
- 資格 本人又は扶養者が島原市に住所を有し、高校等に在学する者（専修学校等にあつては、修業年限が2年以上の課程に修業する者）
- 貸付額 高等学校 月額15,000円（専修学校の高等課程及びこれに準ずる課程を含む）  
高等学校以外（大学等）月額25,000円
- 償還 高校等を卒業した月の翌月から起算して半年を経過した後、貸付けを受けた期間の2倍に相当する期間内に月賦又は半年賦の方法で全額を償還する。

#### ※令和2年度 学校別貸付状況

学校別	貸付人員	新規貸付者 人	継続貸付者 人	合計 人
高等学校		0	1	1
専修学校等		0	1	1
大学		1	6	7
合計		1	8	9

#### ※島原市奨学金（貸与型及びふるさとにもどってこね奨学金）の貸付額及び償還額累計

年度	区分	貸付累計人員 人	貸付累計額 千円	償還累計額 千円
平成20年度		1,309	360,835	279,204
平成21年度		1,324	371,065	290,444
平成22年度		1,341	379,765	302,275
平成23年度		1,356	388,120	314,313
平成24年度		1,373	396,895	326,254
平成25年度		1,379	404,065	339,442
平成26年度		1,394	410,605	353,559
平成27年度		1,410	419,545	365,596
平成28年度		1,421	428,740	377,220
平成29年度		1,430	437,965	386,375
平成30年度		1,437	447,100	394,050
令和元年度		1,443	454,900	403,300
令和2年度		1,447	461,680	410,916

## 【ふるさともどってこんね奨学金】

○目的 将来、故郷 島原市に帰郷し、就業する若者を応援するため、平成29年度から「ふるさともどってこんね奨学金」の貸付を行い、有為な人材の育成を図る。また、島原市内に帰郷し就業することで、奨学金の償還を免除することにより、修学を容易にし、島原市内への定住促進を目的とする。

○資格 次の各号のすべてに該当すること。

- (1) 本人又は法定代理人が本市に住所を有し、市税の滞納がない者であること。
- (2) 大学等に在学している者であること。(申請年度新入学した者に限る。)
- (3) 経済的理由により修学が困難な者であること。
- (4) 学業成績が優秀で、かつ品行方正な者であること。  
(高等学校の5段階評価の平均値が4.0以上であること。)
- (5) 大学等を卒業後、市内に帰郷し就業する意思がある者であること。

○貸付額 大学(大学院を除く)、短期大学、専修学校(専門課程) 月額50,000円

○償還の猶予・免除

- (1) ふるさともどってこんね奨学生であった者が、大学等(大学院を含む)を卒業後、本市に3年以内に住民票を有し、かつ実際に居住し、その後、継続して就業(アルバイト等の非正規雇用を除く)している者は、当該就業期間の償還を猶予する。
- (2) 当該就業期間の猶予期間が5年を超える者については、債務償還額の全額を免除する。

○償還 上記猶予要件を満たさなかった場合は、大学等(大学院を含む)卒業の3年後から貸し付けを受けた期間の2倍の期間内に、月賦又は半年賦の方法で貸与を受けた奨学金の全額の償還義務が発生する。また、猶予期間の途中で免除要件を満たさなくなった場合は、猶予を取り消し、貸与を受けた奨学金の全額の償還義務が発生する。

### ※令和2年度 学校別貸付状況

学校別 \ 貸付人員	新規貸付者 人	継続貸付者 人	合計 人
専修学校等	1	0	1
大学	2	4	6
合計	3	4	7

## 5 学校教育

### 【1】学校の教育目標及び研究主題

学校名	学校教育目標及び研究主題	教育目標…上段 研究主題…下段	
第一小学校	自ら学び、自ら考え主体的に行動できる人間性豊かなたくましい子どもの育成 ～やさしく かしこく たくましい子どもの育成～		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 学校像</li> <li>○ 楽しい学校</li> <li>○ 地域とともにある学校</li> <li>○ 美しい学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 子ども像</li> <li>○ 明るく、思いやりのある子ども</li> <li>○ 進んで学び、よく考える子ども</li> <li>○ 心身ともに健康で正しいことを貫く子ども</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 教師像</li> <li>○ 組織力の高い教師</li> <li>○ 人間性豊かな教師</li> <li>○ 専門性を磨く教師</li> </ul>
	自分の考えを持ち、認め合い、高め合う子どもの育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現を目指した算数科授業を通して～		
第二小学校	かしこく、やさしく、たくましい子の育成		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 学校像</li> <li>○ 美しい学校</li> <li>○ 節度のある学校</li> <li>○ 活気のある学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 子ども像</li> <li>○ かしこい子</li> <li>○ やさしい子</li> <li>○ たくましい子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 教師像</li> <li>○ 一人一人の子どもを大切にす教師</li> <li>○ 豊かな指導力をもち、授業にかける教師</li> <li>○ 優しさと厳しさをもち、信頼される教師</li> </ul>
	子どもたちの「思考力・判断力・表現力」の育成 ～算数科における問題発見・解決を通して～		
第三小学校	「やさしく 元気で 進んで学ぶ」白山っ子の育成 (合い言葉) ～笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい～		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 学校像</li> <li>○ 子どもの笑顔が輝く楽しい学校</li> <li>・心と心が通い合い、ふれあいに満ちた学校</li> <li>・学校、家庭、地域が一体となって徳力、体力、知力の向上をめざす学校</li> <li>・感性豊かな子どもを育む、環境が整備された美しい学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 子ども像</li> <li>○ やさしい子</li> <li>○ 元気な子</li> <li>○ 進んで学ぶ子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 教師像</li> <li>○ 愛情豊かな教師</li> <li>・自己研鑽に努め、子どもに社会を生き抜く力をつけることのできる教師</li> <li>・優しさと厳しさをもち、子どもや保護者に寄り添うことのできる教師</li> <li>・白山を愛し、地域ぐるみで子どもを育てよう、白山を元気にしようとする教師</li> </ul>
	児童が「分かる・できる」喜びを実感できる国語科の授業をめざして ～対話的な学びを通して～		
第四小学校	「やさしく 元気で 進んで学ぶ 杉谷っ子(タフな子)の育成」 (合い言葉) ～花いっぱい 笑顔いっぱい 歌いっぱい～		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 学校像</li> <li>○ 子どもにとって、安心安全で楽しく学ぶ学校</li> <li>○ 教職員にとって、やりがいのある学校</li> <li>○ 保護者にとって、通わせたい安心な学校</li> <li>○ 地域にとって、誇りに思える学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 子ども像</li> <li>○ やさしい子</li> <li>○ 元気な子</li> <li>○ 進んで学ぶ子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 教職員像</li> <li>○ 子どもと共に学び授業で育てる教職員</li> <li>○ 子どもと共に行動し寄り添う教職員</li> <li>○ 互いに学び高め合い、共働(協働)する教職員</li> </ul>
	自分の思いを生き生きと伝え合う主体的な児童の育成 ～楽しい外国語活動・外国語科を通して～		



第五小学校	<p>安中大好き！ 生命を大切にし、進んで学ぶ、素直でたくましい子どもの育成 ～すなおさいっぱい かしこさいっぱい たくましさいっぱい～</p>												
	<table border="0"> <tr> <td>◇ 学校像</td> <td>◇ 児童像</td> <td>◇ 教師像</td> </tr> <tr> <td>○ 子どもがいきいきと輝く学校</td> <td>○ 生命を大切にし、素直な子</td> <td>○ 明るく元気のある教師</td> </tr> <tr> <td>○ 教職員がやりがいをもって 仕事ができる学校</td> <td>○ 進んで学ぶ子</td> <td>○ 専門職としての力量を 磨き合う教師</td> </tr> <tr> <td>○ 保護者から地域から 信頼される学校</td> <td>○ 心身ともにたくましい子</td> <td>○ 人間愛に満ちた教師</td> </tr> </table>	◇ 学校像	◇ 児童像	◇ 教師像	○ 子どもがいきいきと輝く学校	○ 生命を大切にし、素直な子	○ 明るく元気のある教師	○ 教職員がやりがいをもって 仕事ができる学校	○ 進んで学ぶ子	○ 専門職としての力量を 磨き合う教師	○ 保護者から地域から 信頼される学校	○ 心身ともにたくましい子	○ 人間愛に満ちた教師
◇ 学校像	◇ 児童像	◇ 教師像											
○ 子どもがいきいきと輝く学校	○ 生命を大切にし、素直な子	○ 明るく元気のある教師											
○ 教職員がやりがいをもって 仕事ができる学校	○ 進んで学ぶ子	○ 専門職としての力量を 磨き合う教師											
○ 保護者から地域から 信頼される学校	○ 心身ともにたくましい子	○ 人間愛に満ちた教師											
	<p>主体的に学びに向かい、確かな学力の向上をめざす子どもの育成 ～教師の働きかけにより、子どもが学び続け確かな学力を身に付ける算数科授業を目指して～</p>												
三会小学校	<p>よく学び よく遊び 心豊かでたくましく生きる子どもの育成 ～かしこく やさしく たくましい 三会っ子の育成～</p>												
	<table border="0"> <tr> <td>◇ 学校像</td> <td>◇ 子ども像</td> <td>◇ 教師像</td> </tr> <tr> <td>○ 明るく楽しく活気あふれる 学校</td> <td>○ かしこい子</td> <td>○ 子ども一人一人のよさを伸ばし、 子どもとともに成長する教師</td> </tr> <tr> <td>○ 豊かな感性が育まれる学校</td> <td>○ やさしい子</td> <td>○ 研修に励み、指導力を高め、 子どもとともに学ぶ教師</td> </tr> <tr> <td>○ 地域とともに歩み信頼される 学校</td> <td>○ たくましい子</td> <td>○ 進んで協働し、子どもとともに 汗を流す教師</td> </tr> </table>	◇ 学校像	◇ 子ども像	◇ 教師像	○ 明るく楽しく活気あふれる 学校	○ かしこい子	○ 子ども一人一人のよさを伸ばし、 子どもとともに成長する教師	○ 豊かな感性が育まれる学校	○ やさしい子	○ 研修に励み、指導力を高め、 子どもとともに学ぶ教師	○ 地域とともに歩み信頼される 学校	○ たくましい子	○ 進んで協働し、子どもとともに 汗を流す教師
◇ 学校像	◇ 子ども像	◇ 教師像											
○ 明るく楽しく活気あふれる 学校	○ かしこい子	○ 子ども一人一人のよさを伸ばし、 子どもとともに成長する教師											
○ 豊かな感性が育まれる学校	○ やさしい子	○ 研修に励み、指導力を高め、 子どもとともに学ぶ教師											
○ 地域とともに歩み信頼される 学校	○ たくましい子	○ 進んで協働し、子どもとともに 汗を流す教師											
	<p>今、児童に求められる資質・能力の育成を目指して ～プログラミング教育・外国語教育の実践を通して～</p>												
大三東小学校	<p>大三東に学び かしこく生きる たくましい子ども</p>												
	<table border="0"> <tr> <td>◇ 学校像</td> <td>◇ 子ども像</td> <td>◇ 教師像</td> </tr> <tr> <td>○ 楽しい学校</td> <td>○ 思いやりがあり 助け合う子ども</td> <td>○ 常に学び続ける教師</td> </tr> <tr> <td>○ 美しい学校</td> <td>○ 進んで学び 高め合う子ども</td> <td>○ 親身になって寄り添う教師</td> </tr> <tr> <td>○ 開かれた学校</td> <td>○ 健康でたくましい子ども</td> <td>○ 和を大切にす教師</td> </tr> </table>	◇ 学校像	◇ 子ども像	◇ 教師像	○ 楽しい学校	○ 思いやりがあり 助け合う子ども	○ 常に学び続ける教師	○ 美しい学校	○ 進んで学び 高め合う子ども	○ 親身になって寄り添う教師	○ 開かれた学校	○ 健康でたくましい子ども	○ 和を大切にす教師
◇ 学校像	◇ 子ども像	◇ 教師像											
○ 楽しい学校	○ 思いやりがあり 助け合う子ども	○ 常に学び続ける教師											
○ 美しい学校	○ 進んで学び 高め合う子ども	○ 親身になって寄り添う教師											
○ 開かれた学校	○ 健康でたくましい子ども	○ 和を大切にす教師											
	<p>教科等の見方・考え方を働かせた、主体的・対話的で深い学びの視点に沿った授業改善の実践 ～話し合い活動の充実による支持的風土づくりを目指した取組を通して～</p>												
高野小学校	<p>かしこく やさしく たくましく</p>												
	<table border="0"> <tr> <td>◇ 学校像</td> <td>◇ 子ども像</td> <td>◇ 教師像</td> </tr> <tr> <td>○ 明るく元気で楽しい学校</td> <td>○ 学び合う子ども</td> <td>○ 使命感を持ち、真心で 向き合う教師</td> </tr> <tr> <td>○ 地域に愛される学校</td> <td>○ 認め合う子ども</td> <td>○ 子どもの可能性を信じる教師</td> </tr> <tr> <td>○ 安全で美しい学校</td> <td>○ やりぬく子ども</td> <td>○ 互いに認め合い、磨き合う 教師</td> </tr> </table>	◇ 学校像	◇ 子ども像	◇ 教師像	○ 明るく元気で楽しい学校	○ 学び合う子ども	○ 使命感を持ち、真心で 向き合う教師	○ 地域に愛される学校	○ 認め合う子ども	○ 子どもの可能性を信じる教師	○ 安全で美しい学校	○ やりぬく子ども	○ 互いに認め合い、磨き合う 教師
◇ 学校像	◇ 子ども像	◇ 教師像											
○ 明るく元気で楽しい学校	○ 学び合う子ども	○ 使命感を持ち、真心で 向き合う教師											
○ 地域に愛される学校	○ 認め合う子ども	○ 子どもの可能性を信じる教師											
○ 安全で美しい学校	○ やりぬく子ども	○ 互いに認め合い、磨き合う 教師											
	<p>思考力・判断力・表現力を身に付けた児童の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、教師の創意工夫を生かした授業を展開する中で～</p>												

湯江小学校	自ら学び、自ら考え、判断して行動できる人間性豊かでたくましい児童の育成		
	◇ 学校像 ○ 学びあう学校 ○ 支えあう学校 ○ 高めあう学校	◇ 児童像 ○ 心やさしい子 ○ よく考える子 ○ たくましい子	◇ 教師像 ○ 信頼される教師 ○ 寄り添う教師 ○ 磨きあう教師
	自ら学び、生き生きと表現する子どもの育成 ～教科の見方・考え方を働かせる「学びのサイクル」の確立を目指して～		
第一中学校	算数科における「主体的学び」の共通実践を通して 自ら学び、心豊かでたくましい生徒の育成		
	◇ 学校像 ○ 子どもが、誇りと生きがいを感じて通える学校 ○ 保護者が、信頼して我が子を託せる学校 ○ 地域が、親しみをもち誇りのできる学校 ○ 教職員が、働きがいと誇りを感じる学校	◇ 生徒像 ○ 夢を持ち未来へ進む生徒 ○ 誠実で耐え抜く力のある生徒 ○ 礼儀正しく親切で品位のある生徒	◇ 教師像 ○ 初心と使命を忘れず、自ら伸びる教師 ○ 温かさのある厳しさと深い教育愛で、生徒とともに生きる教師 ○ 心身ともに健康で明るく、実践力のある教師
	学力向上のための指導方法の在り方 ～「主体的・対話的で深い学び」の指導の充実を目指して～		
第二中学校	志を立て すすんで学ぶ生徒の育成		
	◇ 学校像 ○ 「通いたい学校」 ○ 「通わせたい学校」 ○ 「働きがいのある学校」	◇ 生徒像 ○ 深く考え学びとる生徒 ○ 自他を敬愛し心豊かな生徒 ○ 健康で前向きに取り組む生徒	◇ 教師像 ○ 自ら研鑽に励み伸びる教師 ○ 生徒と共に実践する教師 ○ 保護者・地域の信頼に応える教師
	基礎・基本を身につけ、学んだことを活用することができる生徒の育成 ～読解力の視点を踏まえた授業改善を通して～		

第三中学校	自他共栄の精神で学び、持続可能な社会の創り手となる生徒の育成		
	◇ 学校像 ○ 落ち着いた中にも、活気のある学校	◇ 生徒像 ○ よく考え、創意工夫する生徒  ○ 思いやりのある、心豊かな生徒 ○ 心身共に健康で、たくましい生徒	◇ 教職員像 ○ 研修に励み、資質・力量の向上に努める教職員 ○ 生徒理解に努め、使命感に燃える教職員 ○ 人間性豊かで、互いに高め合う教職員
	豊かな表現力を備えた生徒の育成 ～つながる土壌づくりを通して～		
三会中学校	自ら考え、判断し、行動する心豊かでたくましい生徒の育成		
	◇ 学校像 ○ 「生きる力」の基盤となる確かな学力を身に付けさせる学校 ○ 秩序と節度があり、互いに高め合う活力に満ちた学校 ○ 地域・家庭・関係機関と連携・協働し、生徒を育てる学校	◇ 生徒像 ○ 自ら考え、意欲的に学ぶ生徒  ○ 違いを認め、違いに学び、豊かな人間関係を築く生徒 ○ 心も体もたくましく、目標の実現に向け努力する生徒	◇ 教職員像 ○ 研鑽に励み、生徒の学びや成長に真摯に向き合う教職員 ○ 生徒理解に努め、人間性豊かで教育愛に富む教職員 ○ 同僚や家庭・地域と連携・協働し、ともに学校を創る教職員
	自己を見つめ、よりよく生きようとする心豊かな生徒の育成 ～授業改善と教育活動全体からのアプローチを通して～		
有明中学校	○自ら考え、自ら課題を見つけ学ぼうと努力する生徒を育てる ○礼儀正しく、思いやり・感謝・奉仕の気持ちを重んずる生徒を育てる ○心身ともに健康で、気力・体力が充実した、忍耐力がある生徒を育てる		
	◇ 学校像 ○ 子どもが、生きがいを感じて通える学校 ○ 保護者が、信頼して我が子を託せる学校 ○ 地域が、親しみをもち誇りにできる学校 ○ 教職員が、働きがいと誇りを感じる学校	◇ 生徒像 ○ 夢と希望を持ち、生き生きと前向きに取り組む生徒 ○ 表現力豊かで、思いやりと感謝の心を持った生徒 ○ 当たり前のことが、当たり前のできる生徒	◇ 教師像 ○ 情熱と教育愛にあふれ、子どもとともに活動する教師 ○ 指導力の向上をめざし、絶えず研鑽に励む教師 ○ 自覚と協調性をもち、チーム力を高め合う教師 ○ 法律を遵守し、自己管理に努める教師
	一人一人が輝くために主体的に考え学び行動できる生徒の育成 ～個別最適で協働的に行う主体的・対話的な深い学びの実践を通して～		

## 【2】島原市適応指導教室

### (1) 島原市適応指導教室設置の目的及び設置

心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒（以下「対象児童生徒」という。）に対して、学校復帰を援助するため、島原市適応指導教室（以下「適応指導教室」という。）を設置する。

### (2) 対象児童生徒

適応指導教室に通級できる児童生徒は、次の各号に該当する児童生徒とする

- ① 島原市在住の児童生徒
- ② 島原市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が、適応指導教室における指導や援助が効果的と判断し、かつ、通級可能な児童生徒
- ③ 本人と保護者が、適応指導教室に通級することを希望する児童生徒
- ④ 在籍校長が、適応指導教室に通級することを認める児童生徒

### (3) 開設場所

島原市北門町 130 番地 (TEL 0957-64-7098)

### (4) 開設日及び開設時間

- ① 開設日は、毎週月曜日から金曜日までとする。
- ② 開設時間は、午前 9 時 30 分から午後 3 時 30 分までとする。

### (5) 指導者

教育委員会が、任命又は委嘱した相談員（会計年度任用職員）及び委員

（医療関係者、学校関係者、教育委員会職員、その他）

### (6) 指導方針

- ① 基本的な生活習慣の改善を図り、精神的及び社会的な自立を促す。
- ② 体験学習・遊び等を通して、生活経験を広げるとともに、集団生活に参加する意欲を高める。
- ③ 児童生徒同士、児童生徒と指導者との人間的なふれあいを深めるとともに協調性や耐性を養う。
- ④ 児童生徒一人一人の学力に応じた個別指導を進めながら、学力の補充を行うことにより、学校復帰への抵抗を和らげる。
- ⑤ 教職員研修を充実する。
- ⑥ 不登校児童生徒の保護者会を定期的で開催し、情報交換をするとともに、相談員や専門相談員との懇談を実施し、保護者の悩み等を和らげる。
- ⑦ 訪問指導をし、通級できない児童生徒への相談・指導・援助を図る。
- ⑧ 教育委員会と学校・家庭・関係機関とが連携を図りながら、協力体制をより充実させることにより、児童生徒の学校への復帰を援助する。

### (7) 努力事項

- ① 児童生徒同士、児童生徒と指導者との人間的なふれあいを深め、児童生徒の心を開かせる。
- ② 学校・家庭・関係機関と連携を図るとともに、専門相談員の指導助言を受けながら児童生徒一人一人の実態に応じて、適切な相談・指導・援助を行う。
- ③ 教職員研修の充実を図るとともに、保護者へ適切な援助を行う。

## (8) 指導内容

### ① 児童生徒に対する指導

#### ア 集団生活への適応指導

様々な体験学習や遊び・各種行事への参加等を通じて、集団や小集団での相談指導・援助をし、集団生活への適応を図る。

#### イ 生活指導

個別や小集団での相談・指導や対応をしていくなかで、基本的な生活習慣を身につけさせていく。

#### ウ 教科指導

一人一人の学力に応じた個別指導を行う。

### ② 保護者に対する相談・指導

ア 個別相談を通して、児童生徒への対応のあり方を考えたり、児童生徒の実態に応じて、専門家や他の関係機関を紹介したりする。

イ 保護者会を通して、保護者同士が子供への対応のあり方について学び合う。

### ③ 学校との連携

ア 在籍校と連携を取りながら、児童生徒への指導のあり方を相談し合う。

イ 通級状況を報告し、実態を知らせる。

ウ 事例研修会や教育講演会を通して、児童生徒への対応のあり方について学び合う。

### ④ 関係機関との連携

必要に応じて関係機関（県教育センター、市少年センター、長崎子ども・女性・障害者支援センター、福祉事務所等）と十分連携を取りながら指導にあたる。

### ⑤ 専門家による指導

児童生徒一人一人の状態について、専門相談員の指導を受けながら、相談・指導・援助等を行う。

## (9) 島原市適応指導教室概要

- |                   |                  |                  |
|-------------------|------------------|------------------|
| ・ 主管部局            | 島原市教育委員会         | 学校教育課            |
| ・ 設置              | 平成8年10月1日        |                  |
| ・ 平成8年度           | 毎週火曜日と金曜日の週2日    | 相談員2名<br>(週2日勤務) |
| ・ 平成9年度           | 毎週火曜日から金曜日までの週4日 | 相談員2名<br>(週3日勤務) |
| ・ 平成10年度<br>～14年度 | 毎週月曜日から金曜日までの週5日 | 相談員2名<br>(週4日勤務) |
| ・ 平成15年度～         | 毎週月曜日から金曜日までの週5日 | 相談員2名<br>(週5日勤務) |

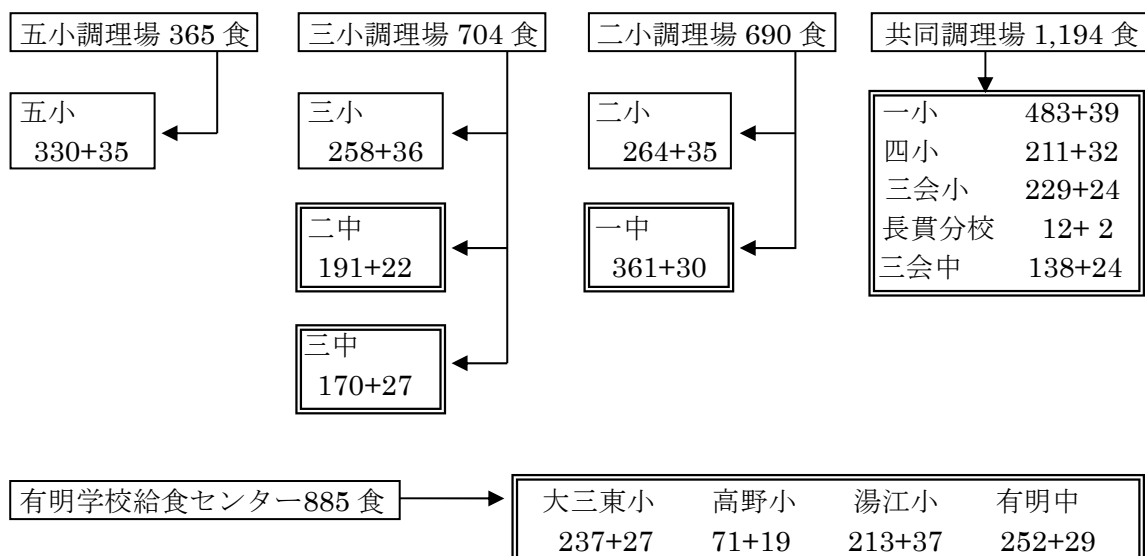
### 【3】学校給食

#### 指導方針

- (1) 栄養のバランスがとれた食事が摂取できるよう努める。
- (2) 望ましい食習慣を形成し、自己の健康管理ができる能力を育てる。
- (3) 健康教育の一環としての給食指導の充実を図る。
- (4) 豊かな心の育成にかかわる食事環境の整備に努める。
- (5) 食生活が自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深める。

#### 1 学校給食実施状況

##### (1) ブロック調理方式 (四小新校舎完成時 平成12年9月から)



##### (2) 給食費

	1食単価	月額	年間予定回数
小学校	240円	4,200円	198回
中学校	280円	4,900円	194回

3月分月額は、年間の回数による調整額となる。

##### (3) 給食内容・方法

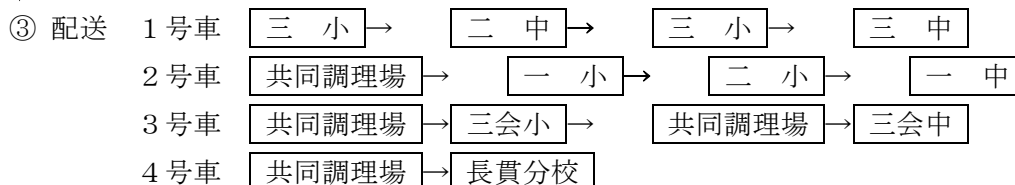
給食は週5回実施 (米飯給食3回、パン給食2回)

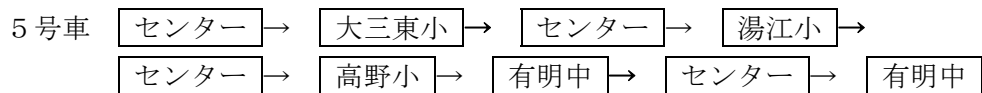
###### ① 献立作成

- ア) 基本献立原案作成 毎月1回 (栄養教諭及び学校栄養職員4人)
- イ) 献立原案検討 (各学校において検討)
- ウ) 学校給食研究会 (学校からの意見を持ち寄り、内容の検討)
- エ) 献立の決定

###### ② 調理 (二小 三小 五小 共同調理場 有明学校給食センター)

↓  
・ 食材発注、調理：調理校





## 2 安全衛生管理の徹底

「学校給食衛生管理基準」に基づき施設・設備の整備を図るとともに関係職員の資質の向上に努める。

- (1) 学校給食施設設備の点検（年3回、各学期毎に実施）  
薬剤師と連携し、給食施設の点検、食器の残渣テスト等を行う。
- (2) 専門業者によるネズミ及び衛生害虫防除（年3回、夏・春・冬実施）
- (3) 保健所係員による立入り検査（年1回）

## 3 地域社会・家庭との連携

学校給食をとおして、地域社会及び家庭の食生活改善に資するとともに、児童・生徒の健康保持増進に努める。

- (1) 毎月の献立を内容とした広報紙を各家庭に配布する。
- (2) 地域団体との交流会時に給食試食会を行う。

## 4 学校給食検討委員会

学校給食の充実について、広く意見を聴取するために設置する。

定数は27名以内とし、校長代表、学校給食調理場長、育友会・地域代表等を構成員とする。



【共同調理場】



【有明学校給食センター】

## 6 学校体育

### 【1】目標

学校における体育・健康に関する指導は、児童生徒の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の実現に努めること。特に、学校における食育の推進及び体力の向上に関する指導、並びに安全に関する指導、心身の健康の保持増進に関する指導については、保健体育科、技術・家庭科及び特別活動の時間はもとより、各教科、道徳科及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めること。また、それらの指導を通して、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活における適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。

#### (1) 小学校

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

#### (2) 中学校

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

##### ①体育科授業の充実

- ア 指導方法の工夫改善に努め、基礎・基本の定着と効果的な学習の展開・実践に努める。
- イ 教師の技能の向上と豊かな指導力と旺盛な意欲を養うための研修会、講習会への積極的参加に努める。
- ウ 体力テストの実施

(全学年の児童生徒に実施することによって、体力向上のための基礎資料を得る。)

##### ②中学校部活動の指導と管理

学校教育活動の一環として、学校管理下で運営を実施し、部活動外部指導者を含めた指導体制の確立と部活動の指導、管理に努める。

##### ③中学校体育大会（中学校体育連盟）

市中学校体育連盟、市教育委員会共催により、陸上競技大会と各種競技大会を実施し、競技力及び体力の向上を図る。



【2】令和3年度中学校部活動実施状況

	部活動名	第一中学校			第二中学校			第三中学校			三会中学校			有明中学校			合計		
		男子	女子	小計	男子	女子	小計	男子	女子	小計	男子	女子	小計	男子	女子	小計	男子	女子	小計
1	陸上競技	7	10	17				9	6	15				7	10	17	23	26	49
2	水泳													7	6	13	7	6	13
3	バスケットボール	15	16	31	15	13	28						16	13	29	46	42	88	
4	バレーボール	19	16	35		15	15	18	12	30		7	7	13	21	34	50	71	121
5	卓球	29	14	43	11	2	13	1	14	15		13	13	12	5	17	53	48	101
6	サッカー	20	6	26	30	2	32	15	6	21	11	11	16	3	19	92	17	109	
7	軟式野球	15		15				4		4	12	2	14	13	13	44	2	46	
8	柔道																		
9	剣道	1	2	3	5	4	9						10		10	16	6	22	
10	ソフトテニス	34	18	52	14	12	26	10	21	31	23	18	41	14	15	29	95	84	179
11	ソフトボール																		
12	ブラスバンド	3	39	42		9	9				2	18	20	3	15	18	8	81	89
13	美術		26	26	1	10	11		13	13				6	16	22	7	65	72
14	パソコン	18	21	39													18	21	39
15	音楽							1	7	8							1	7	8
16																			
	部活動員合計	161	168	329	76	67	143	58	79	137	48	58	106	117	104	221	460	476	936
	生徒総数	181	180	361	104	87	191	76	94	170	72	66	138	131	121	252	564	548	1,112
	部活動加入率	89.0%	93.3%	91.1%	73.1%	77.0%	74.9%	76.3%	84.0%	80.6%	66.7%	87.9%	76.8%	89.3%	86.0%	87.7%	81.6%	86.9%	84.2%

## 7 学校保健

### 【1】目標

学校における保健管理及び安全管理に関し必要な事項を法に基づき実施し，児童・生徒及び職員の健康の維持増進を図る。

(1) 小・中学校児童生徒の体位状況（市・県・全国比較表）

	身長 (cm)		体重 (kg)		
	男	女	男	女	
6 歳	市	116.1	115.7	21.5	21.5
	県	116.1	115.2	21.4	21.1
	国	117.8	116.7	21.8	21.3
7 歳	市	123.0	122.4	25.1	24.4
	県	122.0	122.7	24.2	23.7
	国	123.5	121.4	25.2	24.2
8 歳	市	128.2	128.4	28.6	27.9
	県	127.6	127.1	27.3	26.8
	国	128.9	128.2	28.2	26.7
9 歳	市	133.5	134.2	31.7	30.9
	県	133.2	133.3	30.9	30.2
	国	134.4	133.3	32.4	30.3
10 歳	市	139.2	140.5	35.4	35.5
	県	138.4	140.0	34.4	34.6
	国	139.9	141.5	36.8	34.5
11 歳	市	145.7	146.9	40.3	39.7
	県	144.8	146.6	40.5	39.6
	国	147.3	148.3	40.2	41.5

	身長 (cm)		体重 (kg)		
	男	女	男	女	
12 歳	市	153.1	151.7	44.9	44.6
	県	152.2	151.5	44.2	44.4
	国	153.9	152.4	45.5	43.8
13 歳	市	160.2	155.0	49.9	49.6
	県	159.6	154.5	49.8	48.0
	国	160.6	155.2	50.0	47.8
14 歳	市	165.9	157.0	54.7	51.0
	県	165.0	156.0	54.4	50.6
	国	166.3	156.9	55.1	50.2

(国・県・市とも令和2年度)

## 8 社会教育

### 【1】社会教育関係団体

#### (1) 婦人会

市内5地区には、地区婦人会があり、独自の活動目標を掲げ、女性学級等の研修活動や環境美化等の奉仕活動に取り組むとともに、地域の行事にも積極的に参画している。また、青少年の健全育成活動にも熱心に取り組む、地区婦人会を束ねる市婦人会連絡協議会では、活動の目標に「地域の子育てや高齢者支援に積極的に参加しましょう」を掲げ、島原市ココロねっこ運動の推進に積極的に参画している。特に「通学合宿」においては、毎回、地区婦人会の多大な協力を得ている。

市をはじめ地域の諸行事や青少年の健全育成の推進において欠くことのできない団体であり、会の運営については、自主運営の方針を尊重しながら婦人会活動の活性化について、適切な助言を行う。

#### (2) 青年団

島原市の青年団活動は、地区青年団として白山青年団が活動を行っている。

団員は少ないが、青少年健全育成活動にも力を入れており、地区の通学合宿や精霊流し等での活動は、市民に高い評価を得ている。

今後も、新規団員の獲得やリーダー育成などの支援に努めていきたい。

#### (3) 青少年健全育成協議会

市内7地区で組織されている青少年健全育成協議会は、地域全体で子どもたちを育成する中心母体として、地区ごとの特色を生かし、体育・レクリエーション行事、伝承・伝統行事、週末の余暇活動等を実施している。これらの活動を通して、親子や三世代のふれあいの機会を設け、地域の連帯意識の高揚に努めている。7地区の健全育成会の連合組織である市青少年健全育成連絡協議会では、各地区の活動状況等の報告会を定期的で開催し、意見交換を行うなど、他地区の成果を共有し、各地区の活動に生かしている。

#### (4) PTA

PTA連合会は、小中学校14校の育友会又はPTAで結成されている。県PTA連合会の「自らの人間力を高め、教育力の向上を目指すPTA活動を推進しよう」というスローガンのもと、「児童生徒の福祉を増進するために、相互に連絡し協力し、責任を分け合い、教育の進展に努力すること」を目的としている。市PTA連合会研修会の充実に向けた連携強化を図るとともに、家庭教育学級や各種の行事を通して、各会員の資質の向上に努める。また、昨年度から、各校の会長を対象に、単P活動の活性化を目的とした「会長研修会」を開催している。

各単位組織の会員に対しては、各種研修会の充実とともに、今日の社会情勢や子どもの現状を考え、自分の子育てを見直し、積極的な子育てができるように努め、「しまばら家庭教育三三七拍子」などを活用しての「基本的な生活習慣の定着」「メディアの正しい使用法の定着」「たくましい子どもの育成」など、家庭教育力の向上を図る。

地域ぐるみの子育てを目指した「島原市ココロねっこ運動」の推進に向けては、異学年による通学合宿の実施、子育て支援団体との連携、地域学校協働活動の推進を図っていく。その中で、子育てにおける家庭の役割、学校の役割、地域や行政の支援のあり方等を明らかにし、今後の子育て環境の向上につなげ、子どもが健やかに育つ地域づくりを目指す。

## (5) 子ども会

長崎県子ども会育成連合会(県子連)に加入している会員数は、少子化の影響を受け年々減少してきている。このため、単位子ども会としての活動が困難になったり、役員を選出が困難になったりするなどの問題が生じている子ども会もあり、これらの問題解消のため、子ども会の合併を検討、実施しているところも出てきている。子ども自身による企画・運営の場や自然や地域の中での体験活動の減少も見られ、子どもたちにとって一番身近な地域活動の場が弱体化してきており、今後、PTA等との連携を図りながら、強固な組織づくりを踏まえた支援を行う必要がある。

単位子ども会の連合組織である「島原市子ども会育成連絡協議会」(市子連)が単位子ども会の活性化に向けて、様々な取組を行っており、自主的な運営に向けて助言等を行っていく。

## (6) 高齢者団体

市老人クラブ連合会(市老連)は、7地区の各老人クラブから構成されている。福祉行政とも連携し、健康で豊かな老後を過ごせるよう、各種行事等へ積極的に参加するよう促すとともに、地域の子どもたちとの交流、高齢者学級の運営等に自ら進んで参加できるような工夫・配慮を行う。

## 【2】公民館活動

### (1) 各地区公民館の概況

(令和3年4月1日現在)

地区名	有明	三会	杉谷	森岳	霊丘	白山	安中	合計
公民館名称	有明公民館	三会公民館	杉谷公民館	森岳公民館	霊丘公民館	白山公民館	安中公民館	
対象区域(k㎡)	23.49	9.28	9.88	2.80	2.20	2.69	8.48	58.82
世帯数	3,888	1,718	1,536	3,874	2,737	3,205	2,828	19,786
人口	10,078	4,357	3,586	8,068	5,403	6,178	6,254	43,924
館長	社会教育課長が兼任							1
職員数	1	1	1	1	1	1	1	7
事務員	1	1	1	1	1	1	1	7
敷地面積(㎡)	5,658	1,961	3,896	1,443	1,636	1,238	1,928	17,760
施設面積(㎡)	1,779	964	1,118	1,353	1,016	971	785	7,986
施設構造	鉄筋2階	鉄筋2階	鉄筋2階	鉄筋2階	鉄筋3階	鉄筋2階	鉄筋2階	-
竣工年	S47.4	H1.7	H10.12	S45.3	S50.11	S59.3	S53.11	-
駐車場(台)	181	50	66	8	48	29	23	405
図書室蔵書数	-	4,780	3,707	-	3,200	5,382	1,872	18,941
サークル数	28	16	23	39	30	30	14	180

※対象区域面積には国有林を含まない。

### (2) 公民館活動の目標

- ★健やかな子どもたちの成長を願い、PTAや地域の子ども会・青少年健全育成協議会と連携し、公民館を拠点とした青少年健全育成活動を行う。
- ★家庭教育学級・女性学級・高齢者学級・青年教室などの学級や講座を開催し、地域住民の学習意欲を高める。
- ★趣味・サークルなどのグループ活動を促進し、生きがいを求める諸活動を推進する。
- ★青年団・婦人会・老人クラブなどを中心として、地域住民のふれあい活動を進める。

### (3) 公民館運営計画

#### ① 公民館を拠点とした青少年の学校外活動の充実

近年、少子化や核家族化が進み、地域ぐるみで子どもを育てていくことの重要性が高まっている。公民館においても、子ども向けの事業の企画や、学校や地域と連携した各種事業の実施を通じて公民館が子どもたちの活動の場やいこいの場となるよう努めたい。

## ② 学級・講座の充実

生涯における各時期（乳幼児、学童、青年、成人、高齢期）の諸課題をふまえた生涯学習を展開し、それぞれに合わせた各種学級講座を開設するとともに、生きがいを求めるための仲間づくり、趣味のサークル・グループ活動の奨励と拡充を図る。特に家庭教育学級については、青少年の実態から家庭教育の重要性が指摘される状況下、学校・PTA・地区青少年健全育成協議会及び公民館の4者の協働により、健康教育講座や社会教育課による出前講座等を取り入れつつ、新たな課題への対応等にも配慮し、それぞれの特色を生かした総合的な講座となるよう努めたい。

また、その集大成として、各公民館における生涯学習の発表と地域住民の交流の場として「公民館まつり」の充実を図りたい。

## ③ 図書活動

公民館を利用する地域住民からの図書室環境整備や蔵書充実等の要望を受け、その意向にそった図書室の整備・活用及び図書購入を行う。購入した新刊図書などについては、随時、広報活動を通じて啓発を行う。図書の配置場所や明るい図書室の雰囲気づくりなど親しみやすい環境づくりにも配慮し、子ども向け図書の充実やおはなし会等を通じて、子どもの姿の見える図書室・公民館づくりに努めたい。

## ④ 視聴覚教育活動

各種学級（教室）講座などに、随時、ビデオ、プロジェクター等の視聴覚機材を利用した学習の充実を図っていくと同時に、視聴覚ライブラリー教材ビデオ等ソフトの利用促進を図る。

また、情報化社会の進展に伴い、コンピュータが家庭に普及し、インターネット等に対する市民の関心が高いことから、「IT講習会」用として各公民館に導入したパソコンを活用して、多くの方が利用できるようパソコン入門講座等を開催していきたい。

## ⑤ 地域連帯感を高める活動

うるおいと活力に満ちた郷土づくりに寄与するため、共に助け合い、高め合う地域の連帯感づくりに、地域の特性を生かした三世代ふれあい活動などを行う。

## ⑥ 社会教育関係団体育成計画

### ア 青年団

現状では、青年団活動が行われているのは1地区のみであるが、各地区においても、青年層が公民館を利用する活動等を支援するため、青年が参加できる講座や行事を工夫し、地域に密着した青年活動の再生と活発化を図りたい。

また、地域における子どもたちの体験活動の不足が指摘されており、青年層の指導的な立場での参画を促すと共に、自主的な学習、行事への積極的な参加意欲を高め、地域との連帯を深めるよう努めていきたい。

## イ 婦人会

減少傾向にある婦人会組織の維持・強化を図るため、「無理をせず、お互いに支えあい、和気あいあいと、できる人ができる時に、できることを」をモットーに「婦人会に入ってよかった」と思われるやりがいのある、魅力ある婦人会づくりを促していく。

会員自身の学習・研鑽に努め、子どもの健全育成と地域婦人としての教養の向上を図る。  
また婦人会が解散した市内2地区においては、女性の会が結成され、地域の活性化のために取り組んでいる。婦人会、女性の会それぞれの活性化のための育成を図る。

## ウ 高齢者団体

健康保持と豊かな老後を過ごせるよう、高齢者学級、グラウンドゴルフやゲートボールなどの軽スポーツ、研修視察等を通して会員相互の親睦・融和を図るとともに、社会奉仕活動等を取り入れた地域活動を通して、生きがいを求め、頼れる人としての意識の高揚に努める。  
また、地域の小中学生との交流も積極的に行う。

## エ P T A

明るく素直で健康的な子どもを育てるために、家庭教育学級、各種行事等を通して常に連携をとりながら、子育ての推進・強化を促す。

そのため、市P T A連合会や各学校の単位組織との連携を深めながら、役員や会員研修の充実を図る。

## ⑦ 青少年健全育成活動

多様化した社会環境の中で青少年の非行は大きな社会問題である。各種団体と連携を密にし、地区青少年健全育成協議会を中心として、子どもたちの心豊かで健やかな成長を願い、地域の特性を生かした行事や環境整備に努める。

## ⑧ 広報活動

- ・各種行事啓発のため「公民館だより」を発行し、内容の充実を図る。
- ・各種関係団体との連携をとり、団体の広報活動の促進を図る。
- ・公民館関係行事等を報道機関へ連絡し、広く周知を図る。
- ・島原市ホームページや市広報紙を活用し、積極的な情報発信を行う。

### 【3】公民館利用状況（令和2年度）

	公民館事業		各種団体		趣味・サークル		官公署その他		回数 合計	人数 合計
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員		
有明	18	165	222	2,708	1,128	5,286	272	4,996	1,640	13,155
三会	14	131	110	2,287	312	1,794	226	4,286	662	8,498
杉谷	22	458	112	1,999	619	6,027	212	5,215	965	13,699
森岳	58	1,176	482	6,190	843	7,060	236	6,851	1,619	21,277
霊丘	27	737	233	2,736	540	4,953	188	4,133	988	12,559
白山	16	286	87	1,379	738	7,989	184	6,028	1,025	15,682
安中	15	165	121	1,977	253	2,210	125	3,323	514	7,675
計	170	3,118	1,367	19,276	4,433	35,319	1,443	34,832	7,413	92,545

### 【4】生涯学習推進

#### （1）各公民館が開設する各種学級・講座

##### ・学級の概況

本市は、市内7地区に1館ずつ公立の公民館を設置している。

各地区の公民館は、それぞれ独立し、公民館を主会場として公費の各種学級・講座を開設している。

##### □開設状況（令和2年度）

公民館 学級名	有明	三会	杉谷	森岳	霊丘	白山	安中	合計
	高齢者学級	1	1	1	1	1	1	1
女性学級	1	1	1	2	2	1	1	9
青年教室						0		0
家庭教育学級	1	1	1	1	1	1	1	7
合計	3	3	3	4	4	3	3	23

公民館自主講座	3	1	5	1	2	3	1	16
---------	---	---	---	---	---	---	---	----



## (2) 社会教育課が主催、共催する各種講座

### ① 市民文化講座

文化に対する教養の向上、興味関心を高めるために、島原文化連盟との共催により市民文化講座を開催している。市内外の著名な講師による講座で、年に数回実施している。

### ② 健康教育講座

昭和51年度から始めた健康教育講座も女性学級や高齢者学級の中の重要な講座として定着しており、そのテーマなど学級生の関心も高く、毎回、多くの参加者があり、また、子育て中のお父さん、お母さんを対象とした家庭教育学級へも導入し家庭での健康づくりに活かされている。

講師は、主に医師会の医師が当たり、そのほかに歯科医師会、栄養士会、島原市地域包括支援センター等も担当し、「私の健康、家族の健康」というスローガンのもとに、これからの健康づくりを目標に医師会の全面的な協力を得て実施しており、県下でも特色ある講座となっている。

### ③ 「IT講習会」

各地区公民館に配置したパソコンを利用して、初級、中級者を対象とした、ワード、エクセル講座などを開催しており、受講希望の多い講座となっている。

## (3) 青少年教育

### ① 各公民館が主催する講座・行事

- ア 子ども向けおはなし会
- イ 各種子ども体験活動

### ② 社会教育課が主催する講座・行事

#### ア 放課後子ども学習室

基礎学力の向上と学習習慣の定着化を目的に、市内全小・中学校で実施している。放課後の時間帯に希望する児童が学校内の余裕教室などに集まり、宿題や予習・復習に取り組んでいる。令和2年度は延べ1,731回実施され、延べ32,591名（1回平均18.8名）の参加があった。

#### イ スクールキッズ

小学生を対象に、夏休みにおける自学習習慣の定着を目的として実施している。希望する児童が4日間各公民館に行き、夏休みの課題に取り組む。退職校長会に教育活動支援員として協力をいただいている。例年好評の事業であるが、令和2年度は88名の参加申込を受けたものの、直前になり新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。

#### ウ 通学合宿

各地区健全育成団体やP T Aなどの協力のもとに市内全7地区で実施している。2泊3日または3泊4日の日程で公民館において、炊事などの身の回りのことを自分達で行う集団生活を送りながら学校へ通い、子どもたちの“生きぬく力”を育む。令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。

#### エ 週末余暇活動

子どもたちの週末の居場所づくりとして、健全育成会やP T A、婦人会や老人クラブ等の協力を得て、各地区の公民館や学校を舞台に様々な遊びや体験活動を実施している。

### (4) 子育て支援

#### ① 子育て講座

よりよい家庭教育のあり方や前向きに子育てに取り組む方法などを学ぶ機会とするため、小・中学校及び産婦人科医院等の協力を得て、発達段階（思春期）に応じた子育て講座を年5回開催する。なお、福祉保健部こども課においては、乳幼児期の子どもをもつ親等を対象にした子育て講座を実施し、子育ての仲間づくりの支援を行っている。

## 【資料】

### 社会教育委員名簿

(令和3年4月1日から令和5年3月31日まで任期2年)

氏名	備考
◎ 金子統太郎	学識経験
北浦 誠治	家庭教育
永石 一成	学識経験
佐藤美由紀	家庭教育
村本 雅一	社会教育
喜多 彰	学識経験
川本まなみ	社会教育
豊田 芳明	社会教育
古瀬 彬	社会教育
原 洋	学校教育
本多 純子	家庭教育

### 各種学級・教室学習計画

#### ① 令和3年度青年教室実施計画

回	中央青年教室 白山地区青年団 (20名)
1	地域交流「七夕飾り作り」 6月
2	高齢者との交流「敬老祝賀会」 9月
3	地域交流「白山公民館まつり」 11月
4	地域交流「オリエンテーリング大会」 2月

令和3年度 各地区女性学級実施計画 (9学級)

回	有明公民館	三会公民館	杉谷公民館	森岳公民館	
	有明女子会キララ	双葉女性学級	ほたる女性学級	さくら女性学級	ゆうすい女性学級
	有明地区在住の女性 公民館利用者(15名)	三会婦人会会員 三会地区在住の女性(31名)	市内在住の女性 (15名)	森岳婦人会会員 (55名)	市内在住の女性 (23名)
1	6月 開講式 お箏の世界	6月 開講式 染物と豊かな暮らし	6月 開講式 島原城の歴史	6月 開講式 在宅医療について	6月 開講式 ボッチャに挑戦
2	7月 ピラティス	7月 市役所見学	7月 ピラティス	7月 市役所見学	7月 絵手紙
3	9月 世界を旅するアサギマダラ	8月 松平家の女性たち	8月 雅楽の調べ	9月 童謡と昔話	9月 寄席を楽しむ
4	10月 有明歴史散策	9月 己書に挑戦	9月 エコクラフト	10月 ゴミの減量化について	10月 コグニサイズ
5	11月 エコクラフト	10月 みんなでダンス	10月 島原城探訪	11月 ボッチャに挑戦	11月 終活講座
6	12月 おしゃれな注連縄づくり	11月 島原の魅力発見	11月 市役所見学	12月 世界バックパックの旅	12月 お正月花
7	1月 百人一首の世界	12月 お正月飾り	12月 楽しい古典講座	1月 腰痛講座	1月 南島原の歴史
8	2月 青い目の人形について	1月 青い目の人形について	1月 青い目の人形について	2月 閉講式 人権学習	2月 遺言について
9		2月 閉講式 SDGsを知ろう!(人権学習)	2月 閉講式 ボッチャに挑戦		3月 閉講式 年間反省・次年計画

回	霊丘公民館		白山公民館	安中公民館
	中央女性学級	コスモス女性学級	白山女性学級	安中女性学級
	霊丘婦人会会員 (26名)	市内在住の女性 (33名)	白山婦人会会員 (64名)	安中婦人会会員 (20名)
1	6月 開講式 骨盤底筋エクササイズ	6月 開講式 コミュニケーション講座	6月 開講式 終活ノートの書き方	6月 開講式 SDGsを知ろう!(人権学習)
2	7月 ボッチャに挑戦	7月 コグトレ	7月 防災講座	8月 自分でできる整体
3	8月 ゴミの減量化について	9月 縄文の里見学	8月 ボッチャに挑戦	10月 薬草園見学
4	10月 島原城探訪	10月 グラウンドゴルフ	9月 市役所見学	11月 グラウンドゴルフ
5	11月 グラウンドゴルフ	11月 本光寺見学	10月 コスモス見学	以降検討中
6	12月 弦楽器の演奏会	12月 検討中	11月 自分でできる整体	
7	2月 相続について	1月 検討中	12月 検討中	
8	3月 閉講式 SDGsを知ろう!(人権学習)	2月 閉講式 楽しい古典講座	2月 閉講式 人権学習	

令和3年度 高齢者学級実施計画（7学級）

回	有明公民館	三会公民館	杉谷公民館	森岳公民館	霊丘公民館	白山公民館	安中公民館
	有明高齢者学級 老人会 (30名)	三会高齢者学級 三会明生会 (30名)	杉谷高齢者学級 杉谷悠友塾 (50名)	森岳高齢者学級 森岳楽生会 (60名)	霊丘高齢者学級 霊丘長寿会 (30名)	白山高齢者学級 白山長生きクラブ (50名)	安中高齢者学級 安中長寿会 (20名)
1	6月 開講式 絵手紙教室	6月 開講式 軽スポーツ	6月 開講式 SDGs	6月 開講式 歴史学習	6月 開講式 交通・生活安全	6月 開講式 相続・遺言書	6月 開講式 軽スポーツ
2	7月 救命救急法	7月 歴史学習	7月 人生講話	7月 相続・遺言書	7月 軽スポーツ	7月 交通・生活安全	7月 健康体操
3	9月 健康教育	9月 交通・生活安全	9月 災害30年	9月 エコクラブ	9月 歴史学習	9月 歴史学習	9月 相続・遺言書
4	10月 軽スポーツ	10月 市庁舎見学	10月 コグトレ	10月 軽スポーツ	10月 ゴミの減量化	10月 ゴミの減量化	10月 グラウンドゴルフ
5	11月 健康エクササイズ	11月 健康体操	11月 健康教育	11月 交通・生活安全	11月 防災教育	11月 SDGs	11月 歴史学習
6	12月 エコクラブ	12月 お正月飾り	12月 新しいことに チャレンジ	12月 コグトレ	12月 コグトレ	12月	12月 お正月飾り
7	1月 島原半島の民話	1月 終活:生前整理	1月 伝承遊び	1月 SDGs	1月 食と健康	1月 コグトレ	1月 SDGs
8	2月 人権学習 閉講式	2月 SDGs 閉講式	2月 食と健康 閉講式	2月 人権学習 閉講式	2月 SDGs 閉講式	2月 食と健康 閉講式	2月 認知症ケア 閉講式

## 【5】文化財及び文化事業

### (1) 文化財

島原市内には、国指定5、県指定11、市指定78、計94件の指定文化財と37件の登録文化財が存在する。

今年度も引き続いて文化財の発掘・顕彰に努め、価値あるものについては島原市文化財保護審議会に諮問し所要の保護策を講じるとともに、開発に伴う埋蔵文化財の保護と調査を実施する。

#### ①国指定「旧島原藩薬園跡」

「旧島原藩薬園跡」については、トイレの水洗化や来客用駐車場を整備するなど年々サービス向上を図っている。

今年度も史跡の保護を第一義としつつ、除草・伐採、そして植栽の見直しなど、親しまれるような管理・運営に努める。

また、薬園フォトコンテストや薬園跡の薬草教室を開催し、市民への周知、見学者の増加を図る。

#### ②県指定「肥前島原松平文庫」

松平文庫においては、貴重な文化財を後世に継承するため、年次計画によりマイクロフィルム化による複製保存を行っており、令和2年度においては7,405コマの複製を行った。今年度も、同程度を複製する予定である。修復作業については2人体制で実施しており、逐次開帳確認の上、虫損の修復等を行っている。また、国文学界において全国的な知名度があるため研究者等の来所調査の対応も多く、目録の頒布、マイクロリーダーを利用した閲覧などにも対応している。

松平文庫を市民に親しんでもらうため、随時、展示コーナーで資料の展示を行うほか、旧島原藩の記録である「島原藩日記」を翻刻・刊行する。

#### ③県指定「島原城跡」

島原城は、江戸期の城郭遺構や築城技術が残っている点の価値が認められ、平成28年2月に県史跡に指定された。また、この本質的な価値は国史跡級とも評価されていることから、市としては国指定を目指す方針を固め、有識者や県の指導をいただき、島原城跡の保存・活用・整備等に関する現状と課題の把握を行い、今後の基本方針や方向性、方法を明確にするため『長崎県指定史跡島原城跡保存活用計画』を策定した。

#### ④有明資料館（大野原遺跡展示館「縄文の里」）

有明総合文化会館地下1階にあり、建設時の発掘調査により出土した遺構や土器・石器などを展示している。

遺構の状況から縄文時代後期の土器づくりの工房跡と推測されており、建物跡などの遺構の復元やビデオコーナーなどにより利用者の理解を図っている。

#### ⑤有明歴史民俗資料館

島原市指定文化財の「木下家の古文書」「島原木綿」をはじめ、民俗資料の充実を図っており、一般観覧に供するとともに、市内小学生の歴史学習などに利用されている。

## ⑥伝統的建造物群の保護

鉄砲町（上新丁～江戸丁）に残る古い建造物群の保存について、理想とされている下ノ丁、江戸丁、中ノ丁、古丁、北原町の一部、新建の一部を対象として制度を導入するために、地域住民の合意形成が図られるように、建設部等と連携して取り組む。

### ア 国指定文化財

種 別	名 称	所 在	指定日
特別名勝	温泉岳	温泉岳国有林	S27. 3. 29
天然記念物	普賢岳紅葉樹林	温泉岳国有林	S3. 3. 31
天然記念物	野岳いぬつけ群落	温泉岳国有林	S3. 3. 31
史跡	旧島原藩薬園跡	小山町	S4. 4. 2
天然記念物	平成新山	三会・安中温泉岳国有林	H16. 4. 5

### イ 県指定文化財

種 別	名 称	所 在	指定日
史跡	まだれいな銘キリシタン墓碑	山寺町 共同墓地	S2. 11. 8
史跡	島原城跡	城内一丁目	H28. 2. 18
天然記念物 植物	有明町の大樟	有明町大三東	S33. 6. 5
天然記念物	熊野神社の大クス	杉山町	S35. 7. 13
天然記念物	熊野神社の大ムク	杉山町	S35. 7. 13
天然記念物	島原イチゴ自生地	南千本木	S35. 3. 22
有形文化財 歴史資料	混一疆理歴代国都地図	本光寺	H11. 2. 17
有形文化財 歴史資料	日本大地図3鋪（一組）	本光寺	H17. 3. 25
有形文化財 考古資料	景華園遺跡出土の一括遺物 百二十二点	城内一丁目 島原図書館	H18. 3. 3
有形文化財 工芸品	刀 折返銘 神氣 附 本阿弥光温 折紙一通	城内一丁目 島原城	H19. 8. 31
有形文化財 古文書	肥前島原松平文庫	城内一丁目 島原図書館	H25. 3. 25

### ウ 市指定文化財

種 別	名 称	所 在	指定日
史跡	藩主松倉豊後守重政の墓	中堀町 江東寺	S57. 4. 5
史跡	藩主松平家の墓所	本光寺	S57. 4. 5
史跡	御用御清水	城内一丁目	S57. 12. 26

種 別	名 称	所 在	指 定 日
史跡	清水川	天神元町	S60. 6. 6
史跡	平山古墳	有明町湯江	S63. 1. 22
史跡	東空閑城の空ぼり	有明町大三東境の松	S63. 1. 22
史跡	板倉重昌の供養塔二基	中堀町 江東寺	H4. 9. 3
史跡	流死菩提供養塔	南崩山町	H4. 9. 3
史跡	流死菩提供養塔	三会町	H4. 9. 3
史跡	流死菩提供養塔	田町	H4. 9. 3
史跡	宝篋印塔型流死供養塔	中堀町	H4. 9. 3
史跡	高力忠房・高力清長の供養墓碑二基	萩原一丁目 快光院	H4. 9. 3
史跡	高島回向堂	高島一丁目	H22. 2. 26
史跡	甚三郎山	萩原二丁目	H28. 12. 1
天然記念物 植物	恵里神社の大クス	江里町	S55. 6. 5
天然記念物 植物	オキチモズク	有明町湯江久原山ノ田川	H8. 11. 18
天然記念物 植物	昭和福ハゼ二世木	小山町 薬園内	H11. 4. 9
無形民俗文化財	島原の精霊流しと切子燈籠	市内全域	H11. 4. 9
無形民俗文化財	島原木綿		H22. 2. 26
有形民俗文化財	水権現の力石	大下町	H11. 4. 9
有形民俗文化財	量石	城内二丁目	H11. 4. 9
無形文化財	先踊	白土町	S54. 5. 21
有形文化財 絵図	市川泰朴の解体図	島原城	S50. 12. 25
有形文化財 絵図	島原藩土屋敷図	本光寺	S50. 12. 25
有形文化財 絵図	森岳城図	八幡町 八幡神社	S50. 12. 25
有形文化財 絵図	旧村の地図（三之沢村・東空閑村・大野村）	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財 絵図	菊地能運の肖像	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財 建造物	本光寺山門	本光寺	S50. 12. 25
有形文化財 建造物	キリシタン墓碑	島原城	S57. 4. 5
有形文化財 建造物	キリシタン墓碑	島原城	S57. 4. 5
有形文化財 建造物	切支丹墓碑2基	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財 建造物	隠し十字入地蔵型灯籠	島原城	H1. 12. 13
有形文化財 建造物	切支丹IHS符号入平型石碑	城内三丁目	H1. 12. 13
有形文化財 建造物	一石五輪塔一基	寺中町 観音様谷	H4. 9. 3



種 別	名 称	所 在	指 定 日
有形文化財 建造物	一石五輪の塔	有明歴史民俗資料館	H4. 11. 10
有形文化財 建造物	流死人供養塔 (松崎)	有明町大三東	H4. 11. 10
有形文化財 建造物	流死人供養塔 (大原)	有明町大三東	H4. 11. 10
有形文化財 建造物	流死人供養塔 (浜東)	有明町湯江	H4. 11. 10
有形文化財 建造物	定祐の碑	有明町湯江	H4. 11. 10
有形文化財 建造物	金兵衛納経塔	有明町大三東	H4. 11. 10
有形文化財 建造物	天如塔及び玉垣	湊道1丁目	H13. 7. 6
有形文化財 工芸品	涅槃図	中堀町 江東寺	S57. 4. 5
有形文化財 工芸品	壺形土器	宮の町 猛島神社	S58. 6. 6
有形文化財 工芸品	杉谷焼	宮の町 猛島神社	S58. 6. 6
有形文化財 工芸品	鰐口一口	崩山町崩山観音堂	H4. 9. 3
有形文化財 工芸品	日米親善人形(通称リトル・メリー)	島原第一小学校	H28. 12. 1
有形文化財 考古資料	景華園遺跡の支石墓掌石	島原城内	S57. 5. 7
有形文化財 考古資料	景華園遺跡の支石墓掌石	中野町	S57. 4. 5
有形文化財 考古資料	礫石原環状石組遺構	礫石原町	S59. 1. 10
有形文化財 書跡	板倉八衛門の書簡	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財 書跡	即非筆の書「高岳山」及び同扁額	南柏野町	H4. 9. 3
有形文化財 書跡	隠元筆扁額「獅子吼」一面	中堀町 江東寺	H4. 9. 3
有形文化財 彫刻	弁天像	本光寺	S50. 12. 25
有形文化財 彫刻	十六羅漢石像	本光寺	S50. 12. 25
有形文化財 彫刻	三十番神像	寺町 護国寺	S50. 12. 25
有形文化財 彫刻	地藏菩薩立像	本光寺	S57. 4. 5
有形文化財 彫刻	地藏菩薩立像	本光寺	S57. 4. 5
有形文化財 彫刻	如意輪観世音菩薩座像	本光寺	S57. 4. 5
有形文化財 彫刻	銅造釈迦如来座像	本光寺	S57. 4. 5
有形文化財 彫刻	木造釈迦如来座像	本光寺	S57. 4. 5
有形文化財 彫刻	日蓮上人像	白土町	S57. 4. 5
有形文化財 彫刻	鞆	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財 彫刻	六地藏	有明歴史民俗資料館	S63. 1. 22
有形文化財 彫刻	六時観音	有明町大三東大原	S63. 1. 22
有形文化財 彫刻	観音菩薩	有明町湯江野田 清水神社	S63. 1. 22
有形文化財 彫刻	隠し十字入地藏	南柏野町 晴雲寺	H1. 12. 13

種 別	名 称	所 在	指定日
有形文化財 彫刻	猿石	片町	H1. 12. 13
有形文化財 彫刻	金銅仏千手観音像	萩原1丁目 和光院	H1. 12. 13
有形文化財 彫刻	マリア地蔵菩薩立像「通称マリア地蔵」	山寺町 共同墓地	H4. 9. 3
有形文化財 彫刻	「歓喜天」又は「聖天」一躯	寺町 叶寺	H4. 9. 3
有形文化財 彫刻	地蔵像	有明町大三東	H4. 11. 10
有形文化財 典籍	旧島原藩日記	島原図書館	S58. 6. 6
有形文化財 典籍	旧島原藩日記	宮の町 猛島神社	S58. 6. 6
有形文化財 典籍	木下家の古文書	有明歴史民俗資料館	H6. 11. 9
有形文化財 歴史資料	長崎刻煙草	中組町	S54. 10. 15
有形文化財 歴史資料	金刀比羅宮の大木札	中組町	S54. 10. 15
有形文化財 歴史資料	キリシタン資料 母子像	湊道1丁目	S57. 4. 5
有形文化財 歴史資料	旧島原藩薬園跡御神体	宮の町 猛島神社	S58. 6. 6

## エ 登録文化財

種 別	名 称	所 在	登録日
登録有形文化財 建造物	清水家住宅主屋	上の町	H15. 7. 1
登録有形文化財 建造物	保里川家住宅主屋	上の町	H15. 7. 1
登録有形文化財 建造物	青い理髪館（旧小林理髪館）	上の町	H15. 7. 1
登録有形文化財 建造物	宮崎商店店舗・焼酎蔵・煙突	上の町	H15. 7. 1
登録有形文化財 建造物	中野金物店主屋・防火壁	上の町	H15. 7. 1
登録有形文化財 建造物	猪原金物店主屋	上の町	H15. 7. 1
登録有形文化財 建造物	加藤酒造店舗兼主屋・井戸・門・表土塀・裏土塀	有明町大三東	H20. 10. 23
登録有形文化財 建造物	鶴殿家住宅旧主屋・主屋	上の町	H20. 10. 23
登録有形文化財 建造物	西川家住宅主屋	白土町	H20. 10. 23
登録有形文化財 建造物	小早川家住宅主屋・門・石塀・煉瓦塀	城内二丁目	H24. 2. 23
登録有形文化財 建造物	島原城御馬見所	城内一丁目 島原城	H25. 3. 29
登録記念物	旧伊東氏庭園（四明荘庭園）	新町二丁目	H20. 7. 28
登録記念物	小早川氏庭園	城内二丁目	H26. 3. 18
登録有形文化財 建造物	マルイチ葬祭斎場（旧小林家住宅酒蔵）	弁天町1-7118-6	H26. 4. 25

種 別	名 称	所 在	登録日
登録有形文化財 建造物	旧伊東家住宅（四明荘）主屋・表門	新町二丁目	H26. 4. 25
登録有形文化財 建造物	しまばら湧水館（旧三村家住宅）主屋・石柱門及び石塀・煉瓦塀	新町二丁目122・一丁目212	H26. 12. 19
登録有形文化財 建造物	島崎家住宅主屋・離れ	新町二丁目	H28. 8. 1
登録有形文化財 建造物	旧升金商会 店舗兼主屋・事務所兼倉庫	湊新地町	H28. 8. 1
登録有形文化財 建造物	堤内家住宅亭	先魁町	H31. 3. 29
登録有形文化財 建造物	中村家住宅長屋門	萩原一丁目	H31. 3. 29
登録有形文化財 建造物	銀水	白土桃山二丁目	R3. 2. 4

## （2）文化事業

### ① 自主事業

市民に芸術性の高い優れた舞台芸術に接する機会を提供し、市民文化の向上と地域活性化につなげるための公演等を行う。

#### □「肥前島原子ども狂言」

6／9（水）・23（水）、7／9（金）・28（水）、8／24（火）、

9／8（水）・22（水）・29（水）、10／8（金）

10／9（土）島原城薪能出演



【肥前島原子ども狂言】

### ② 教育委員会主催事業

広く市民から美術作品を公募し、市民の鑑賞と情操豊かな心を養うとともに美術活動を普及するための島原市美術展覧会を、音楽の普及向上と青少年が音楽に親しむ機会を提供するための、市民音楽祭を開催する。

#### □第60回 島原市美術展覧会

出品部門— 絵画、絵手紙、書道、写真、彫刻・工芸、陶芸の6部門（無審査）

期 間— 令和3年10月6日（水）～11日（月）

□第42回 島原市民音楽祭

洋楽の部 11月14日(日)

邦楽の部 11月21日(日)

## 【6】図書館

### ○島原図書館

島原図書館は、総事業費 371,374千円をもって、昭和60年7月8日から昭和61年3月25日の工期で建設し、昭和61年7月31日に開館した。

管理・運営は、昭和61年4月1日付で設立された(財)島原市教育文化振興事業団に委託し、平成18年4月1日からの指定管理者制度を導入後も、(一財)島原市教育文化振興事業団が指定管理者として管理・運営に当たっている。

・令和2年度中の利用者数は、29,914人で、貸出図書数は、148,833冊となっている。

・図書貸出用の登録者カード所持者は、島原・有明両図書館共通で令和3年3月末現在52,906人となっている。

・主催事業は、子どもたちを対象に「おはなしひろば」7回、「おはなしのじかん」24回、「おはなしのじかん0, 1, 2」7回、一般を対象に月1回「郷土史を学ぼう会」7回を実施した。

その他、季節的な行事として、映画会(夏休み等)、七夕まつり、夏休み工作教室、図書館まつり、夜のおはなし会&ぬいぐるみおとまり会、クリスマスおはなし会を実施し、手作り講座としてクリスマスリース作り、布の絵本作りを実施した。

また、読書感想画展には、小学生から154点の応募があった。

・蔵書数

一般 88,616冊、児童 34,502冊、郷土 5,468冊、計 128,586冊である。

なお、雑誌は96種、新聞11紙を備える。

・視聴覚資料数

カセットテープ 1,365本、ビデオテープ 1,444本、DVD 622本、レーザーディスク 233枚、

CD 1,273枚を備える。

### 令和2年度島原図書館利用状況

開館日数	一般	児童	雑誌	その他	未登録	公民館	合計
276日	77,066冊	56,370冊	11,699冊	2,027冊	1,207冊	464冊	148,833冊

### ○有明図書館

有明図書館(愛称こんね)は、平成11年3月に竣工した有明総合文化会館の中に設置されている。

平成19年4月1日から(一財)島原市教育文化振興事業団が指定管理者として管理・運営に当たっている。

・令和2年度の利用者数は10,983人で、貸出冊数は65,498冊となっている。

・主催事業は、子どもたちを対象に「おはなしポケット」7回、「おはなしのじかん」を6回、「わくわく本の広場」7回を実施した。その他、季節的な行事として、夏休み工作教室、夏休み映画会、図書館まつり、手づくり講座「アロマが香る手作りソープを作ろう」等を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため島原市のブックスタート事業は中止となったが、両館とも学校司書ボランティア活動、学校司書への積極的な支援協力、市内各中学校生徒の職場体験学習、教職員の社会貢献活動研修受入も行った。

・蔵書数

一般書53,767冊、児童書28,232冊、計81,999冊である。なお、雑誌は54誌、新聞は7紙を備える。

・視聴覚資料数

ビデオテープ 766本、DVD 361枚、CD 307枚を備える。

令和2年度有明図書館利用状況

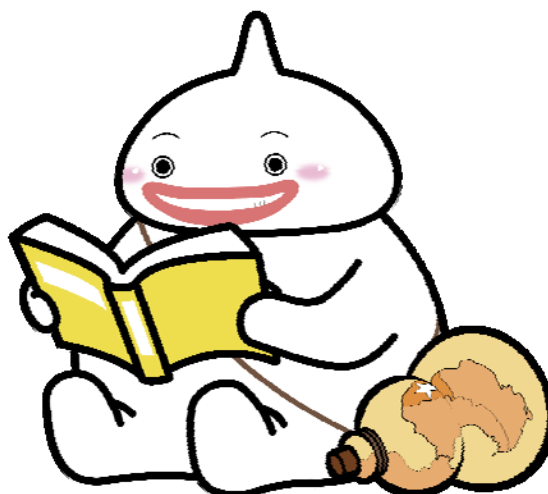
開館日数	一般	児童	雑誌	その他	合計
272日	25,841冊	35,135冊	3,486冊	1,036冊	65,498冊



としょかんコンサート



クリスマスおはなし会



## 【7】文化会館

島原文化会館は、総工費 513,022千円をもって、昭和48年2月起工、昭和49年竣工、現在に至っている。管理・運営は、昭和61年4月1日付で設立された（財）島原市教育文化振興事業団に委託している。平成18年4月1日から指定管理者制度を導入したが、（一財）島原市教育文化振興事業団が指定管理者として選定され管理・運営に当たっている。

鉄筋コンクリート造で、地下1階、地上2階建て。施設は、大ホール、中ホール、小ホール、展示ホールA・B（多目的ホール）、会議室、和室がある。音楽、演劇、講演会、舞踊、式典、展示会、その他各種集会に利用されている。

令和3年度は島原市自主文化事業として、引き続き、小・中学生を対象に「肥前島原子ども狂言」を開催する。

有明総合文化会館は、文化会館、図書館、資料館が一体となった複合施設として、総事業費 2,497,698千円をもって、平成10年2月起工、平成11年3月竣工、現在に至っている。

平成19年4月1日から指定管理者制度を導入し、（一財）島原市教育文化振興事業団が指定管理者として管理・運営に当たっている。

鉄筋コンクリート一部鉄骨造りで、地下1階、地上4階建て。施設は、1階に、大ホール、リハーサル室、視聴覚室、研修室、市民ギャラリー。2階に、多目的ホール、会議室、和室、母子室。地下には、会館建設時に出土した大野原遺跡を展示した歴史資料館がある。音楽、演劇、講演会、式典、展示会その他各種集会に利用されている。

### 令和2年度島原文化会館利用状況

ホール別 区分	大ホール	中ホール	小ホール A	小ホール B	展示室 A	展示室 B	会議室	和室	ロビー	計
利用回数	76	76	59	58	65	27	63	39	14	477
利用人数	11,718	2,807	1,080	757	5,210	109	789	474	3,596	26,540

### 令和2年度有明文化会館利用状況

ホール別 区分	大ホール	多目的 ホール	リハー サル室	楽屋	研修室	和室	視聴覚室	会議室	市民 ギャラリー	計
利用回数	54	49	480	93	117	162	122	38	39	1,154
利用人数	5,488	1,894	5,404	353	2,089	1,856	1,373	235	2,898	21,590

## 【8】 島原市少年センター

### (1) 設置の目的

関係機関・団体との連携強化を図り、本市における少年の健全育成を期し、少年の非行を防止する。

### (2) 少年センターの任務

#### ①補導業務の充実

警察の場合は、非行少年等の非行防止が主であるが、少年センターは、子ども達の健全な活動を促すとともに犯罪を犯す以前の不良少年の発見補導を行っている。

#### ②相談業務の充実

#### ③啓発活動の推進

#### ④環境浄化の推進

#### ⑤関係機関・団体との連携・強化

### (3) 少年センターの具体的業務内容

少年センターの職員及び少年補導委員による活動

#### 1. 補導業務の充実をめざす

- (1) 学校・地域・関係機関から、青少年の問題行動等の情報を積極的に収集し、非行等の未然防止・健全育成に努める。
- (2) 各地区の補導委員と一体となり、「愛の一声」や「あいさつ」運動などの効果的な補導活動の推進を図る。また、青色回転灯装備車の活用を図る。
- (3) 学校や地区補導委員・県警補導員との連携のもとに、溜まり場等の実態を把握し、青少年の問題行動の早期発見・未然防止に努める。
- (4) 商店街・学校・警察・交通安全協会等と協力して、自転車指導を推進する。
- (5) 不審人物等の不穏な行動には、補導委員会を中心にPTAや地区健全育成会等の各種団体と連携して、児童生徒の安全確保に努める。
- (6) 長期休業中や各種イベント等に特別街頭補導を実施し、非行等の未然防止・健全育成に努める。
- (7) 補導委員幹事会・地区補導委員会を計画的に実施し、情報交換や効果的な補導業務の研修を行い、補導委員の資質の向上に努める。
- (8) 県補導委員研修会に積極的に参加し、本市の補導業務の活性化に生かす。

#### 2. 相談業務の充実をめざす

- (1) 「来所・訪問・電話等の相談業務」を広報等で機会あるごとにPRし、相談体制をつくる。

(2)「明るい相談室」づくりに努める。(人的・物的環境づくり)

(3)心の教室相談員・家庭児童相談員・適応指導教室相談員・主任児童民生委員等との連携を図り、いじめや不登校児童生徒等の相談に積極的に取り組む。

(4)相談の指導技術向上のための研修に努める。

### 3. 啓発活動の推進をめざす

(1)「少年の日」(毎月1日)および「家庭の日」(毎月第3日曜日)の趣旨を広報車やセンターだより・各種会合等で積極的に広報する。また、各地区公民館に「少年の日」「家庭の日」の立て看板を設置し、市民にPRを図る。

(2)「少年センターだより」を発行し、小・中学校(14校)の全世帯および関係団体・機関に配布し、青少年の健全育成・非行防止の啓発に努める。

(3)各種会合に出席し、関係団体との連携に努める。

### 4. 環境浄化の推進をめざす

(1)立入調査権限の移譲により、少年センターがリーダーシップをとり、関係機関(島原警察署生活安全課・県子ども未来課)や、高校の少年補導委員との連携を図り、定期的に有害な図書等の環境実態調査を実施し、各書店・業者に環境浄化の協力を要請する。

(2)少年補導委員は、街頭巡回補導をしながら、有害な環境の実態を把握し、必要に応じて関係機関(同上)への改善を要請する。

(3)カラオケボックス等の出入りについて、各学校等の「きまり」や「申し合わせ事項」に基づいて指導を行う。

(4)白ポスト(中央公園、島原港、有明文化会館)投棄物の回収を定期的に行い、必要に応じて適切な措置をとる。

(5)公園・河川敷・駅舎等を巡回し、環境整備・美化を呼びかける。

## (4) 少年センター概要

・ 主管部局 島原市教育委員会 社会教育課

・ 設 置 昭和46年8月2日に島原市教育委員会内に設置  
昭和57年11月1日に森岳公民館内に移設

・ 設置場所 島原市城内一丁目1177番地イの第3

・ 職員構成 所長1(兼任)社会教育課長、次長1(兼任)学校教育課長  
指導監1(専任・非常勤)、相談員1(兼任・非常勤)、職員6(兼任)

・ 令和3年度予算額 4,466,000円

・ 少年センター運営協議会 委員14名

・ 少年補導委員 64名(教員24名、一般40名 内女性9名)

・ 計画補導 月1～3回(昼夜各1回)



- ・ 特別補導 各種年中行事や長期休業中、土曜夜市等
- ・ 自主補導 随時・緊急時（1～3名）



環境浄化用白ポスト（中央公園）



街頭補導活動の様子（令和元年度）

## 9 スポーツ

### 【1】目 標

スポーツの振興については、社会体育関係団体との連携を密にし、指導体制の確立とスポーツ施設の充実に努める。特に各種スポーツ大会の開催、体力づくり運動推進など実践活動の機会の拡充を図り、生涯にわたりスポーツをとおして心身の健康保持増進と明るい市民生活の向上に努める。

また、学校生活において「夢・憧れ・志」を持つことの大切さを学ぶ機会を提供し、ジュニアスポーツの活性化に努める。

#### (1) スポーツ推進委員

スポーツ推進委員に41名を委嘱し、全市及び各地区のスポーツ行事・体力づくりの企画運営にあたる。

○主な活動内容

- ・全市的なスポーツ行事の運営（市民体育祭等）
- ・地区運動会等の企画運営
- ・地区ソフトボール大会、バレーボール大会、ピンポン大会、駅伝大会、オリエンテーリング大会、レクリエーション大会等の開催
- ・地区各機関との連絡調整

#### (2) 市民体育祭・地区運動会及び各種大会

- ・市民体育祭は、各種競技会と大運動会を開催する。
  - ・地区運動会は、町内会、自治会、青年団、スポーツ推進委員、公民館が中心となり、安中、杉谷、三会、有明の4地区で盛大に開催される。
- また、各種大会は、ソフトボール大会、バレーボール大会等が各地区で開催される。

#### (3) 各種大会

島原市民及び島原市で勤務する者を対象とした各種大会が、教育委員会、スポーツ協会、スポーツ推進委員の指導により開催され、地域の仲間づくり、健康・体力づくりに寄与し、基本的な技術を習得させると共に愛好者の拡大、競技人口の底辺拡大が図られる。

- ・各種大会

教育委員会主催が8大会、スポーツ協会加盟団体主催等を含めると年間200回程度の各種競技大会が市内で開催されている。

#### (4) 夢の教室及びジュニアスポーツ振興事業

子ども達が将来に向かって「夢・憧れ・志」を育む機会を提供し、ジュニアスポーツの活性化に努める。

##### ・夢の教室

全小学校の5年生を対象に日本サッカー協会が派遣する「夢先生（現役アスリート等）」招へいし、夢をもつことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さを学ぶ授業を開催する。

（令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の現状を鑑み、オンライン形式で継続することとした。）



##### ・ジュニアスポーツ振興事業

小中学生15名を日本体育大学に派遣し、オリンピックなどのトップレベルの指導者等から講義や実技指導を受け、児童生徒の意識高揚を図り、更なるスポーツ振興や競技力の向上に努める。（令和2年度・令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、本市の児童・生徒への感染リスクが伴うこと、夏休み期間が受入れ期間対象外となっていることから中止した。）

【2】島原市体育施設利用状況(令和2年度分)

施設名	内容	利用者数	備考
島原市霊丘公園 体育館・弓道場	体育館	29,592	バレーボール・卓球・バドミントン ・体操等
	弓道場	7,528	
霊丘公園運動広場		6,443	ソフトボール・ゲートボール サッカー・グラウンドゴルフ
	夜間照明施設	16	
島原市立有馬武道館		10,150	空手・剣道・柔道・レスリング
島原市立温水プール		7,348	
島原市営球場		6,977	野球・レクリエーション・遠足等
島原市営陸上競技場		14,188	
島原市営庭球場	霊丘公園	6,744	
	夜間	465	
	総合運動公園	31,576	
	夜間	5,955	
島原市立屋内相撲場		11,129	
霊丘公園相撲場(屋外)		80	
島原市立第二中学校	夜間照明施設	268	ソフトボール・野球・サッカー等
島原市営杉谷運動広場		507	ソフトボール・サッカー・ゲートボール等
島原市営安中運動広場		11,727	ソフトボール・サッカー・ゲートボール等
島原市営三会ふれあい運動広場		4,505	ソフトボール・野球・サッカー・ゲートボール・遠足等
島原市立れいなん会館		483	
島原復興アリーナ		45,403	バレーボール・バドミントン・バスケットボール・卓球
平成町多目的広場		23,375	サッカー・ラグビー・グラウンドゴルフ・遠足等
有明プール		23,088	
有明体育館		7,220	バレーボール・バドミントン・卓球
有明弓道場		95	
有明青少年武道館		7,988	空手・剣道・柔道・レスリング
島原市有明の森運動公園		4,745	
	夜間照明施設	814	ソフトボール・野球・サッカー等
有明大野浜運動場		14,993	ソフトボール・サッカー・ゲートボール等
平成町人工芝グラウンド		64,547	サッカー・ラグビー・グラウンドゴルフ・遠足等
計		347,949	

【3】島原市スポーツ少年団(令和3年度)

	団数	団員数(地区別)							全域	合計
		森岳	霊丘	白山	杉谷	安中	三会	有明		
サッカー	9	37	19	15	16	12	18	44	103	264
バレーボール	14	35	9	25	16	32	11	53		181
バスケットボール	2	12	27							39
ソフトボール	11			17		24	34	36	51	162
レスリング	2							22	13	35
剣道	3			19				30	7	56
空手	3							32	39	71
ラグビー	1								46	46
柔道	1								10	10
軟式野球	1							11		11
相撲	1								8	8
計	48	84	55	76	32	68	63	228	277	883

## 10 一般財団法人島原市教育文化振興事業団

### 【1】設立目的

この法人は、島原市の指定及び委託を受けて、島原市が設置する教育文化施設等の管理・運営を行い、もって島原市の教育と文化の発展及び社会における非営利セクターの役割の向上に寄与することを目的とする。

昭和61年3月31日設立

平成25年4月1日改組

基本財産 1千万円

理事定数 3名以上 10名以内

監事定数 2名以上 3名以内

評議員定数 3名以上 7名以内

### 【2】受託事業等

昭和61年4月1日	島原図書館の管理運営
昭和62年4月1日	島原文化会館の管理運営
〃	島原市が設置する体育施設の管理運営（体育館、武道館、温水プール、弓道場）
平成9年4月1日	島原市が設置する体育施設の管理運営（陸上競技場、市営球場、庭球場）
平成11年4月1日	学校給食調理業務
平成11年6月8日	島原勤労者総合福祉センターの管理運営
平成12年8月1日	島原復興アリーナの管理運営
平成13年4月1日	島原市立屋内相撲場の管理運営
平成15年4月1日	島原市営平成町多目的広場の管理運営
平成18年4月1日	島原文化会館、島原図書館、島原市体育館、島原市営陸上競技場、島原復興アリーナの指定管理者の指定を受ける
平成19年4月1日	有明文化会館、有明図書館の指定管理者の指定を受ける 有明学校給食センター調理業務
平成21年4月1日	島原文化会館、島原・有明図書館、島原市体育館他、島原市営陸上競技場他、島原復興アリーナ他の指定管理者の指定を受ける
平成22年4月1日	有明文化会館の指定管理者の指定を受ける
平成25年4月1日	一般財団法人へ移行 有明文化会館の指定管理者の指定を受ける
平成26年4月1日	島原文化会館、島原・有明図書館、島原市霊丘公園体育館・弓道場他、島原市営陸上競技場他、島原復興アリーナ他の指定管理者の指定を受ける
平成29年4月1日	島原文化会館、島原市霊丘公園体育館・弓道場他、島原市営陸上競技場他、島原復興アリーナ他の指定管理者の指定を受ける
平成30年4月1日	有明文化会館他の指定管理者の指定を受ける (一財)島原市学校給食会設立に伴い、学校給食調理業務を移管
平成31年4月1日	島原・有明図書館の指定管理者の指定を受ける

### 【3】運営経費 運営に要する経費は、島原市から補助金、及び指定管理料として交付される。

(令和3年度)

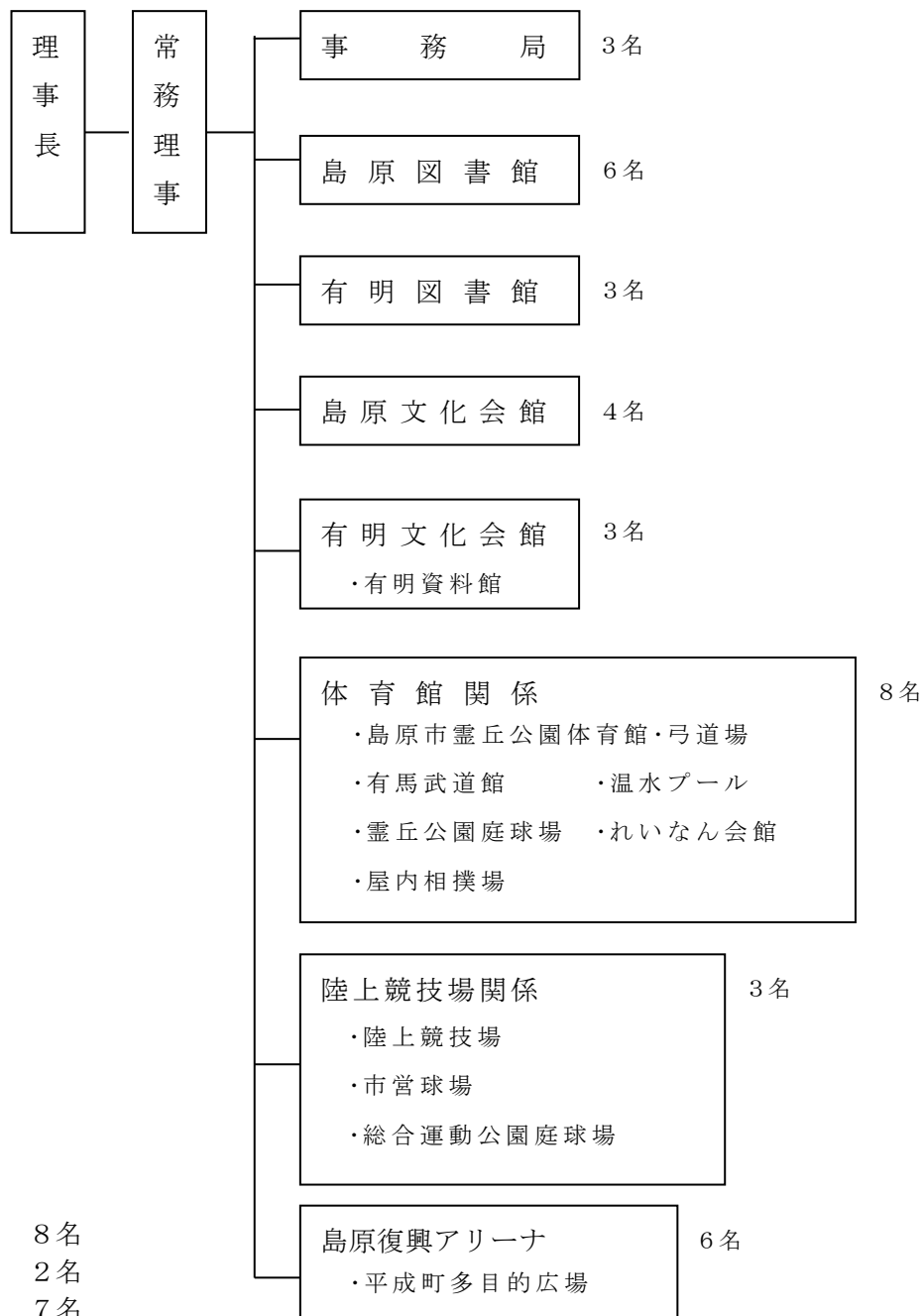
運営費補助金	16,473,000円
図書館指定管理料	52,406,000円
島原文化会館指定管理料	37,204,000円
有明文化会館等指定管理料	37,541,000円
霊丘公園体育館・弓道場等指定管理料	50,556,000円
陸上競技場等指定管理料	20,776,000円
島原復興アリーナ等指定管理料	60,348,000円
(合計)	275,304,000円

**【4】職 員**

事務局	3名	島原図書館	6名
有明図書館	3名	島原文化会館	4名
有明文化会館	3名	島原市体育館・弓道場	8名
陸上競技場	3名	島原復興アリーナ	6名
		(合 計)	(36名)

一般財団法人 島原市教育文化振興事業団 組織図 (令和3年4月1日現在)

所在地 島原市有明町大三東戊1438番地1 〒859-1415  
 電話番号 0957-68-5133



役員  
 理事 8名  
 監事 2名  
 評議員 7名

# 1 1 一般財団法人島原市学校給食会

## 【1】設立目的

学校給食の円滑な実施と運営を図り、児童生徒の健全な心身の発達と豊かな食生活を実現するとともに、学校給食を通じた食育の推進と地産地消の推進及び、広く市民の健全な食生活の実現に寄与することを目的とする。

平成30年4月1日設立  
 基本財産 3百万円  
 設立者 島原市長 古川 隆三郎  
 理事定数 3名以上10名以内  
 監事定数 1名以上 3名以内  
 評議員定数 3名以上 7名以内

## 【2】受託事業等

- (1) 学校給食費の徴収に関する事
- (2) 学校給食用物資の調達及び供給に関する事業
- (3) 学校給食の調理に関する事業
- (4) 学校給食用物資の安全性の確保に関する事業
- (5) 学校給食の実施上必要な講習会、研究会に関する事
- (6) 学校給食を通じた食育の推進に関する事業
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 【3】運営経費 運営に要する経費は、島原市から補助金、委託料として交付される。

(令和3年度)

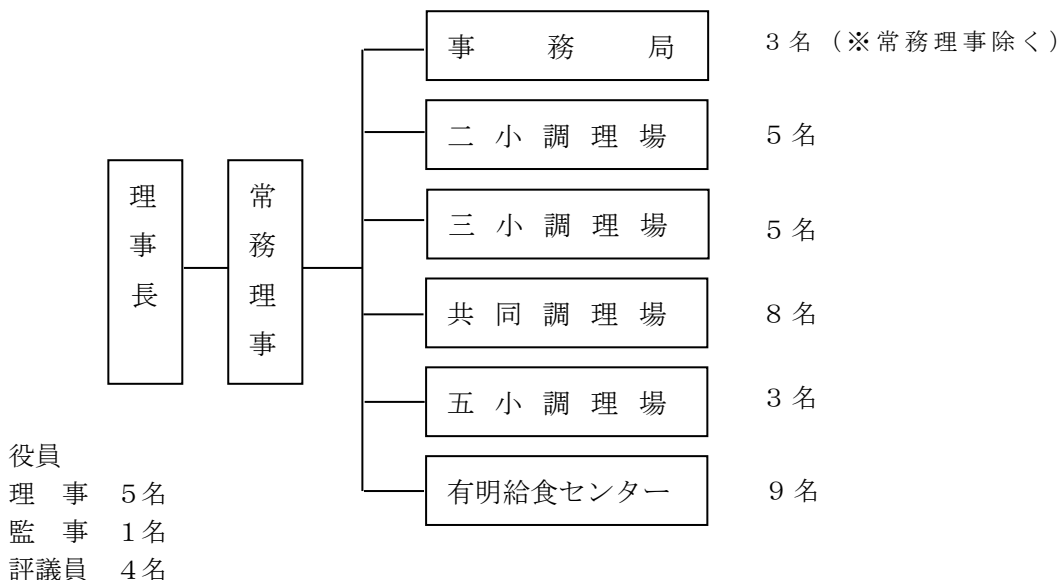
運営費補助金	18,309,000円
学校給食業務委託料	116,245,000円
(合計)	134,554,000円

## 【4】職員

事務局 4名  
 学校給食調理場 30名 (※他臨時職員3名、代替調理員7名)  
 (合計) 34名

### 一般財団法人 島原市学校給食会 組織図 (令和3年4月1日現在)

所在地 島原市有明町湯江丙383番地1 〒859-1403  
 電話番号 0957-68-2750



いのち  
「生命・きずな・感謝の心」を大切に

進んで

元気な

あいさつを！



島原市教育委員会